

一般国道497号  
(西九州自動車道)

唐津伊万里道路

平成18年9月29日(金)

国土交通省 九州地方整備局

# 目 次

1.西九州自動車道について	道路-1-1
1 - 1 高規格幹線道路網の経緯	道路-1-1
1 - 2 事業の概要	道路-1-3
1 - 3 事業の必要性	道路-1-4
2.唐津伊万里道路の概要	道路-1-8
3.事業の必要性	道路-1-9
3 - 1 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-1-9
3 - 2 事業の投資効果	道路-1-24
3 - 3 事業の進捗状況	道路-1-26
4.事業の進捗の見込み	道路-1-27
5.コスト縮減や代替え案立案等	道路-1-30
6.対応方針(案)	道路-1-31
7.関連新聞記事	道路-1-32
巻末資料(客観的評価指標)	道路-1-35

# 1. 西九州自動車道について

## 1 - 1 . 高規格幹線道路網の経緯

「第三次全国総合開発計画（昭和 52 年 11 月 4 日閣議決定）」では、全国的な幹線交通体系の長期構想として既定の国土開発幹線自動車道を含め、概ね 1 万 km 余りで形成される高規格の幹線道路網の必要性が提唱された。

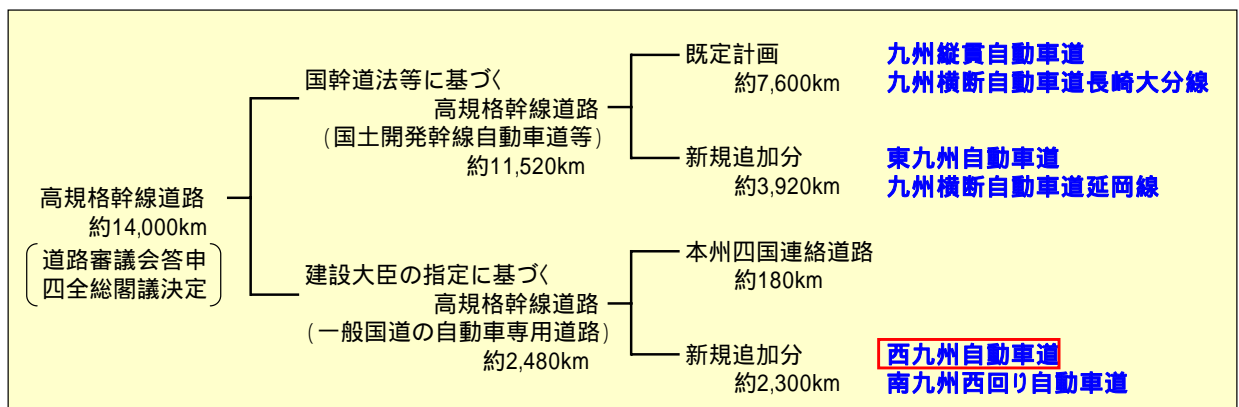
建設省においても、第 9 次道路整備五箇年計画期間内(昭和 58 年度～62 年度)に高規格幹線道路網計画を策定すべく鋭意調査を進めてきた。

これらの経緯を踏まえ、昭和 62 年 6 月 26 日道路審議会答申に基づき、6 月 30 日に建設大臣により、従前の国土開発幹線自動車道等（7,600km）及び本州四国連絡道路（180km）並びに、新たな高規格幹線道網を構成する路線 6,220km を合わせ 14,000km の高規格幹線道路網が定められ、西九州自動車道も高規格幹線道路として位置づけられた。

昭和 62 年 6 月 26 日 道路審議会答申

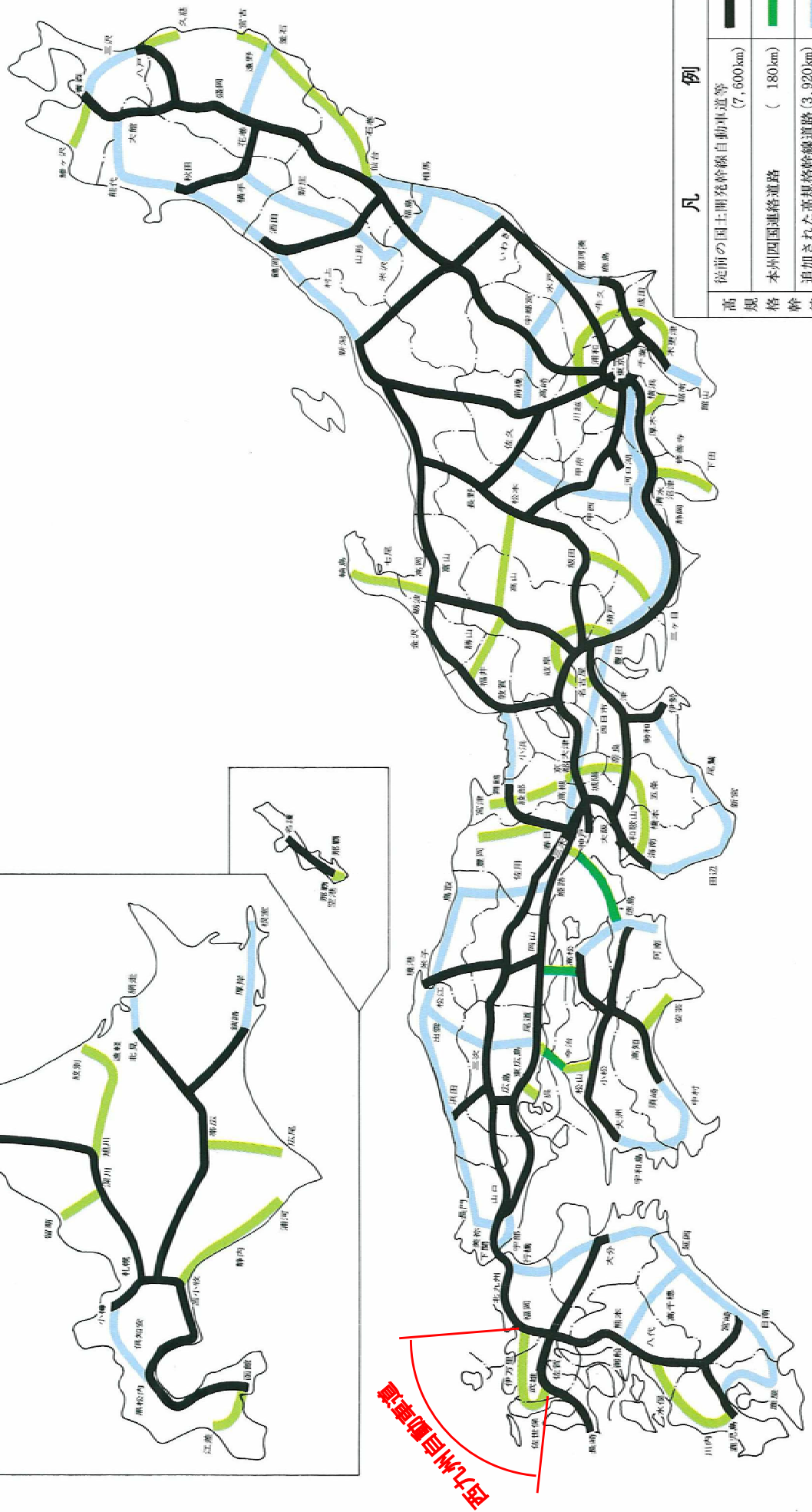
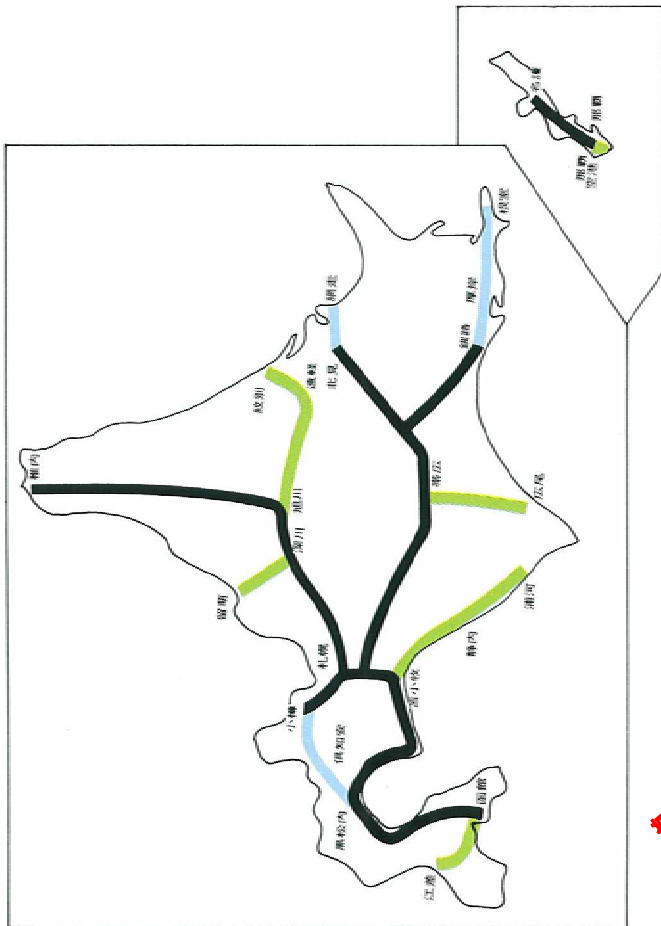
昭和 62 年 6 月 30 日 「第四次全国総合開発計画」閣議決定  
～多極分散型国土の形成のため“交流ネットワーク構想”を推進～

昭和 62 年 6 月 30 日 建設大臣により 14,000km の高規格幹線道路網決定  
～高規格幹線道路網として西九州自動車道が位置づけ～



高規格幹線道路網の整備体系

# 高規格幹線道路網計画図 14,000km



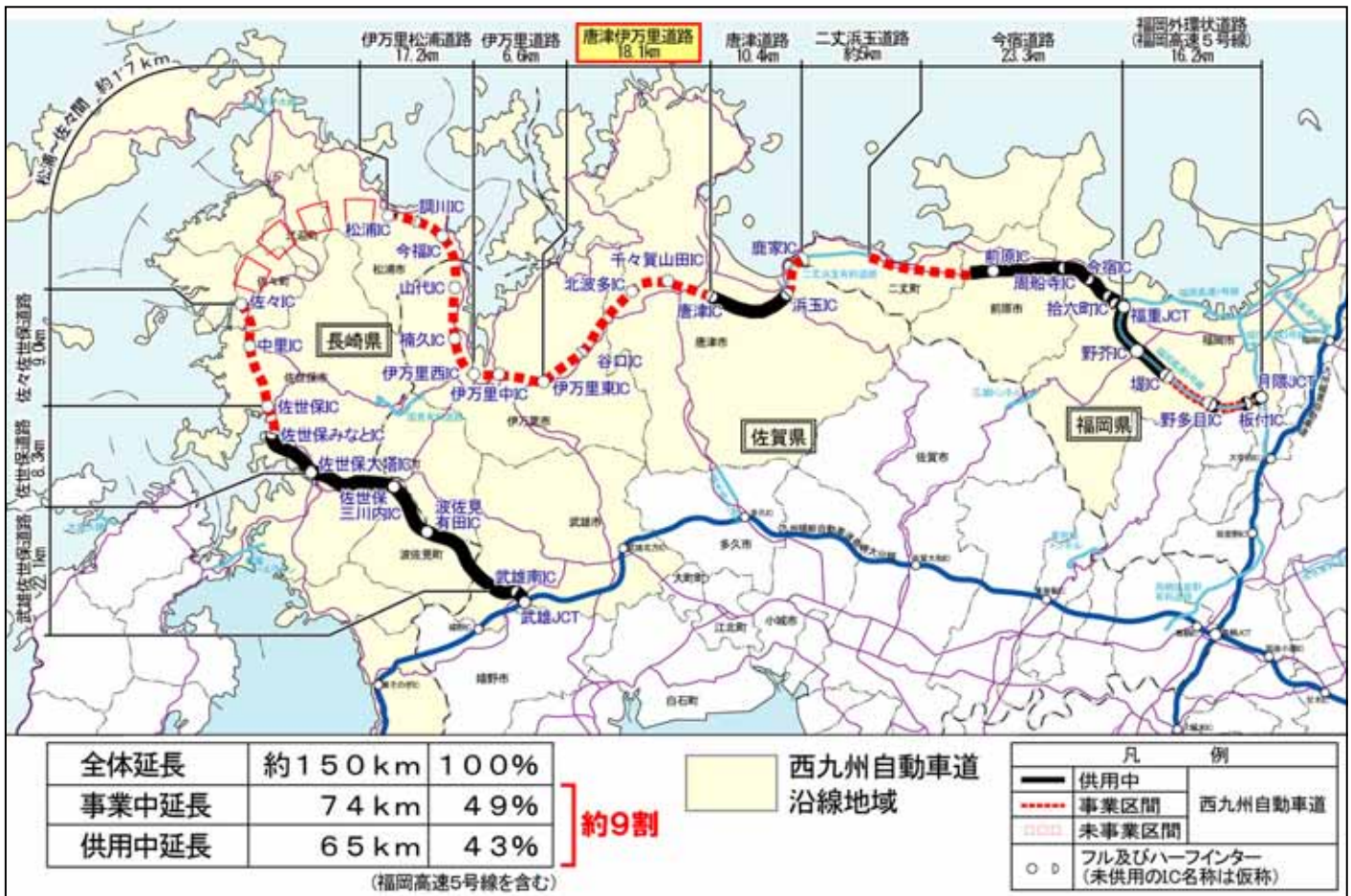
凡 例	
高規格	従前の国土開発幹線自動車道等 (7,600km)
格	本州四国連絡道路 (180km)
幹	追加された高規格幹線道路(3,920km) (国土開発幹線自動車道追加路線)
線	追加された高規格幹線道路(2,300km) (一般国道の自動車専用道路)
道	
路	

## 1 - 2 . 事業の概要

西九州自動車道は、福岡県福岡市から佐賀県唐津市、同県伊万里市、長崎県松浦市、同県佐世保市を經由して、佐賀県武雄市に至る延長約 150km の自動車専用道路である。

この内、福重 JCT～前原 IC 間(今宿道路の一部区間)、浜玉 IC～唐津 IC 間(唐津道路の一部区間)、武雄南 IC～佐世保みなと IC 間(武雄佐世保道路と佐世保道路の一部区間)等約 65km が供用しており、全体延長の 43%となっている。また、現在 74km (全体延長の 49%) が事業中であり、西九州自動車道の約 9 割が供用もしくは事業中区間となっている。

### 西九州自動車道 L = 150 km



### 1 - 3 . 事業の必要性

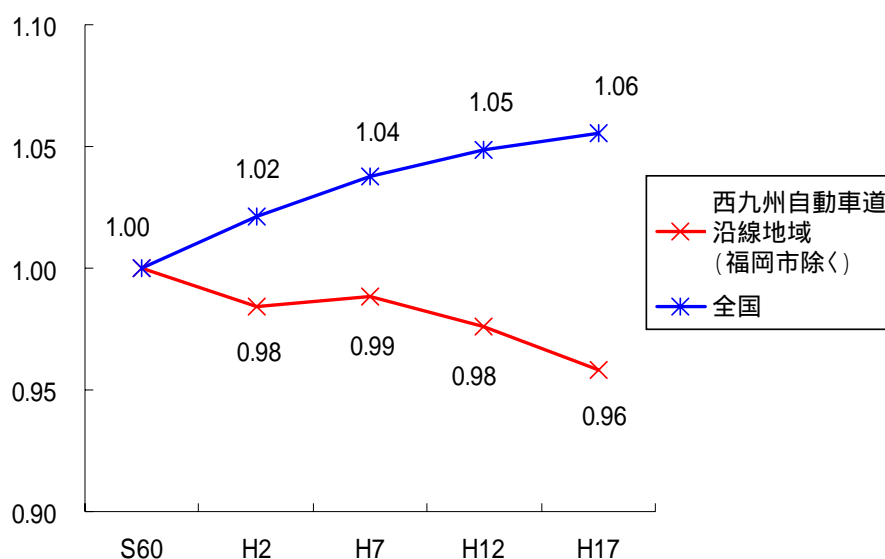
#### ( 1 ) 西九州自動車道沿線地域における社会経済情勢の変化

##### 周辺環境の変化

我が国の人口は、高規格幹線道路網の指定が行われた年次（昭和 62 年）に近い昭和 60 年以降増加している。一方、福岡市を除く西九州自動車道沿線地域では、昭和 60 年以降人口は減少しており、昭和 60 年から平成 17 年にかけて約 4% 減少している。

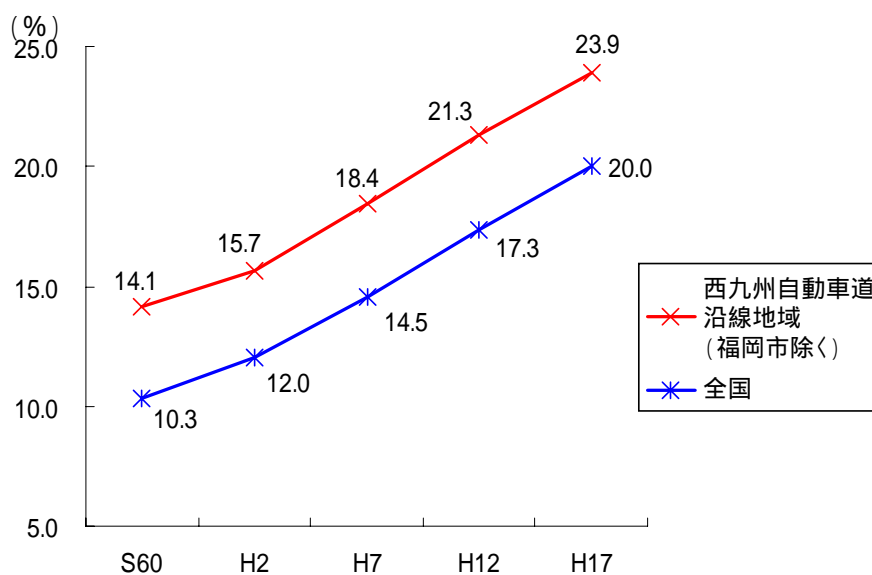
また、福岡市を除く西九州自動車道沿線地域の高齢化率は、昭和 60 年以降全国平均を 4% 上回る状態が続いており、全国的に高齢化が進展している地域であるといえる。

このように、西九州自動車道沿線地域は、全国と比べ格差が拡大してきている現状にある。



総人口の伸び

資料：国勢調査



高齢化率の推移

資料：国勢調査、推計人口

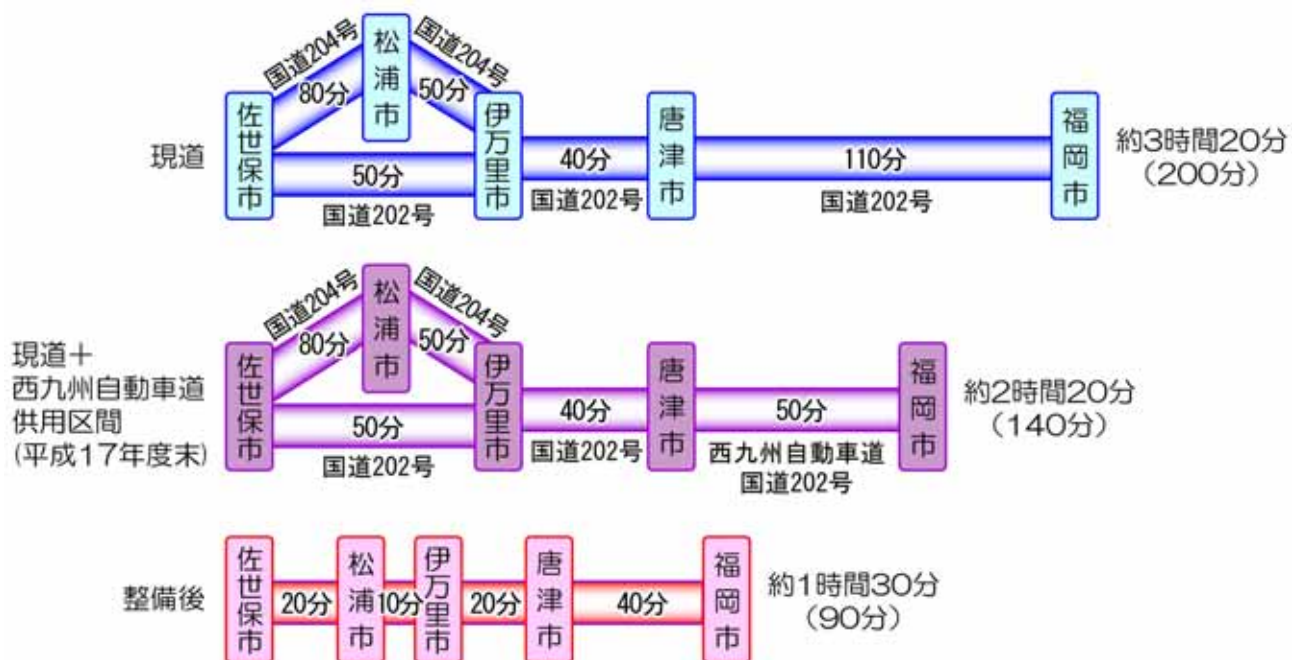
## 事業の効果・必要性

### 効果・必要性1:地域間の交流連携の支援

西九州自動車道の整備により、福岡市から佐世保市間の所要時間は、現道利用の3時間20分・1時間30分へと約110分短縮され、地域間の交流連携を支援する。

西九州自動車道沿線には、福岡市、唐津市、伊万里市、松浦市および佐世保市の主要都市が存在しているが、これら都市間の現況所要時間は最低でも40分以上を要し、福岡市～佐世保市間の現道を利用した所要時間は約3時間20分となっている。

西九州自動車道整備により、福岡市～佐世保市間の所要時間は現道利用の約3時間20分・約1時間30分へと約110分短縮され、地域間の交流連携を支援する。



現在：渡辺通りと交差する国道202号を起点とし、各都市間は想定しているそれぞれのIC予定地付近との時間。  
 整備後：天神北ランプを起点とし、各都市間は各IC予定地との時間。1種2級100km/h、1種3級80km/hで算出。

### 西九州自動車道沿線主要都市間の所要時間の変化

資料：H11 道路交通センサス

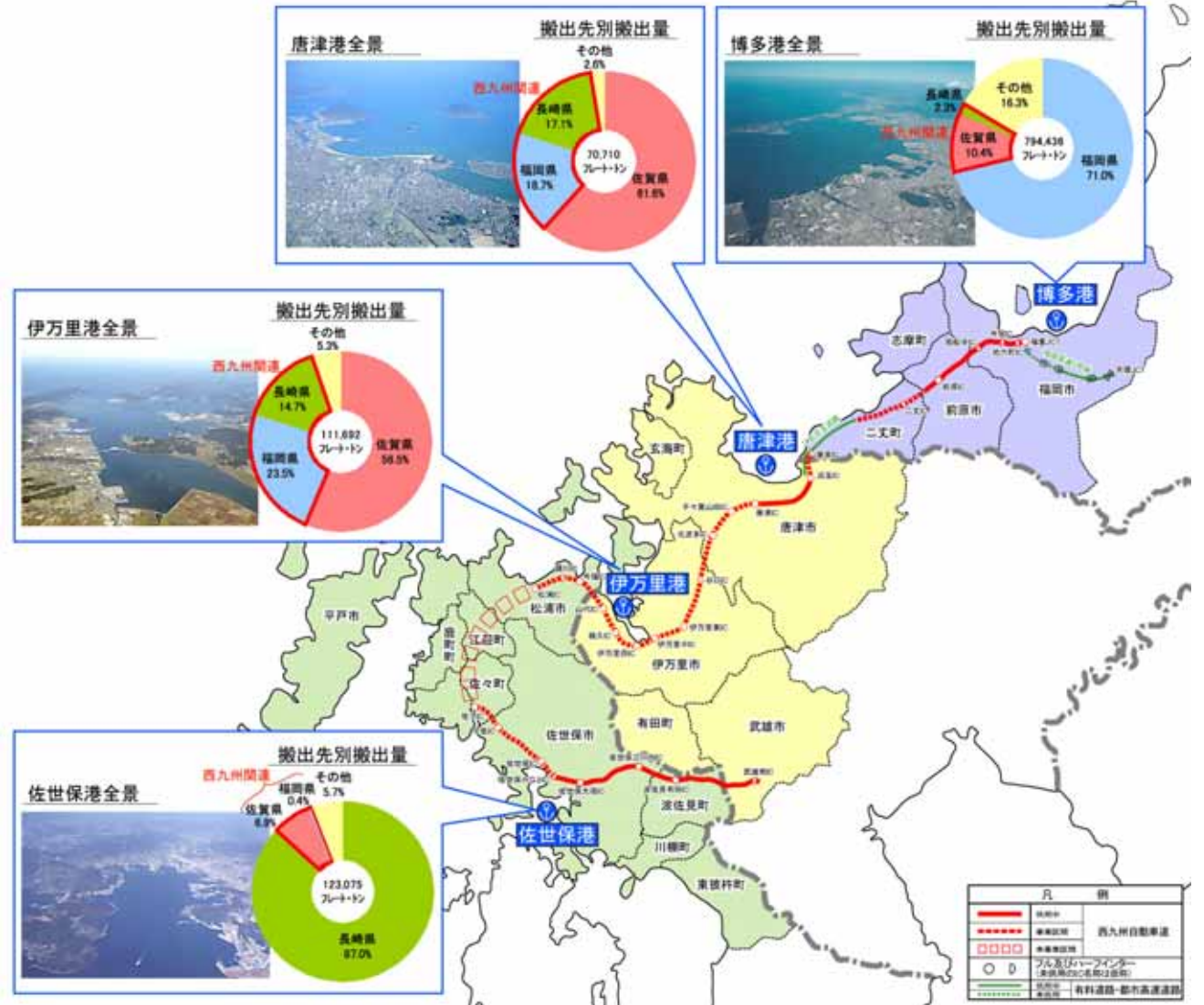
効果・必要性2：物流の効率化支援

西九州自動車道沿線には、特定重要港湾「博多港」、重要港湾「唐津港・伊万里港・佐世保港」が存在する。これらの港湾で陸揚げされた貨物は、県内のみならず西九州自動車道沿線方向へ搬出され、特に、唐津港・伊万里港における搬出量の約4割は、西九州自動車道沿線への搬出である。  
西九州自動車道の整備により、広域的な物流の支援が期待される。

西九州自動車道沿線には、特定重要港湾「博多港」および重要港湾「唐津港・伊万里港・佐世保港」が存在する。

博多港は中枢国際港湾に指定されており、九州一のコンテナ取扱量を誇っている。また、伊万里港は、平成17年、コンテナ取扱量が博多港、北九州港に次ぐ九州3位に躍進しており、西九州自動車道沿線には海外との物流の玄関口となる拠点港湾が連なっている。

港湾で陸揚げされた貨物は、県内のみならず、西九州自動車道沿線方向に搬出され、特に、唐津港・伊万里港搬出量の約4割は、西九州自動車道沿線への搬出となり、西九州自動車道の整備は、これらの広域的な物流の支援が期待される。



西九州自動車道沿線の特定重要港湾・重要港湾

資料：九州地方整備局港湾空港部 HP  
平成17年陸上出入貨物調査





## 2 . 唐津伊万里道路の概要

### ( 1 ) 概要

唐津伊万里道路は、西九州自動車道のうち、佐賀県唐津市～伊万里市を結ぶ延長18.1kmの自動車専用道路である。

本道路は、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与するとともに、当該地域の主要幹線道路である一般国道202号の代替路線としての機能も有する。

### ( 2 ) 道路の緒元

起 点：自) 佐賀県唐津市中原さがけんからつしなかばる

終 点：至) 佐賀県伊万里市南波多町府招さがけんい万里しみなみはたちょうふまねき

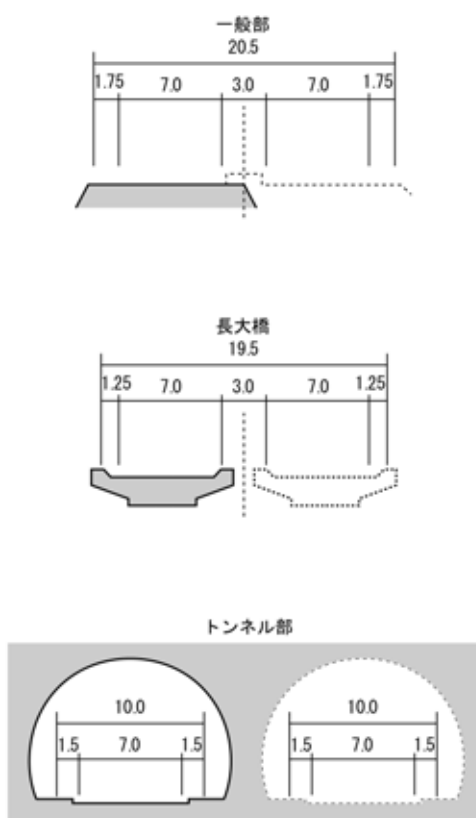
延 長：18.1km

車 線 数：4車線

道路規格：第1種第3級

設計速度：80km/h

### ( 3 ) 標準断面図



路線概要図

### 3 . 事業の必要性

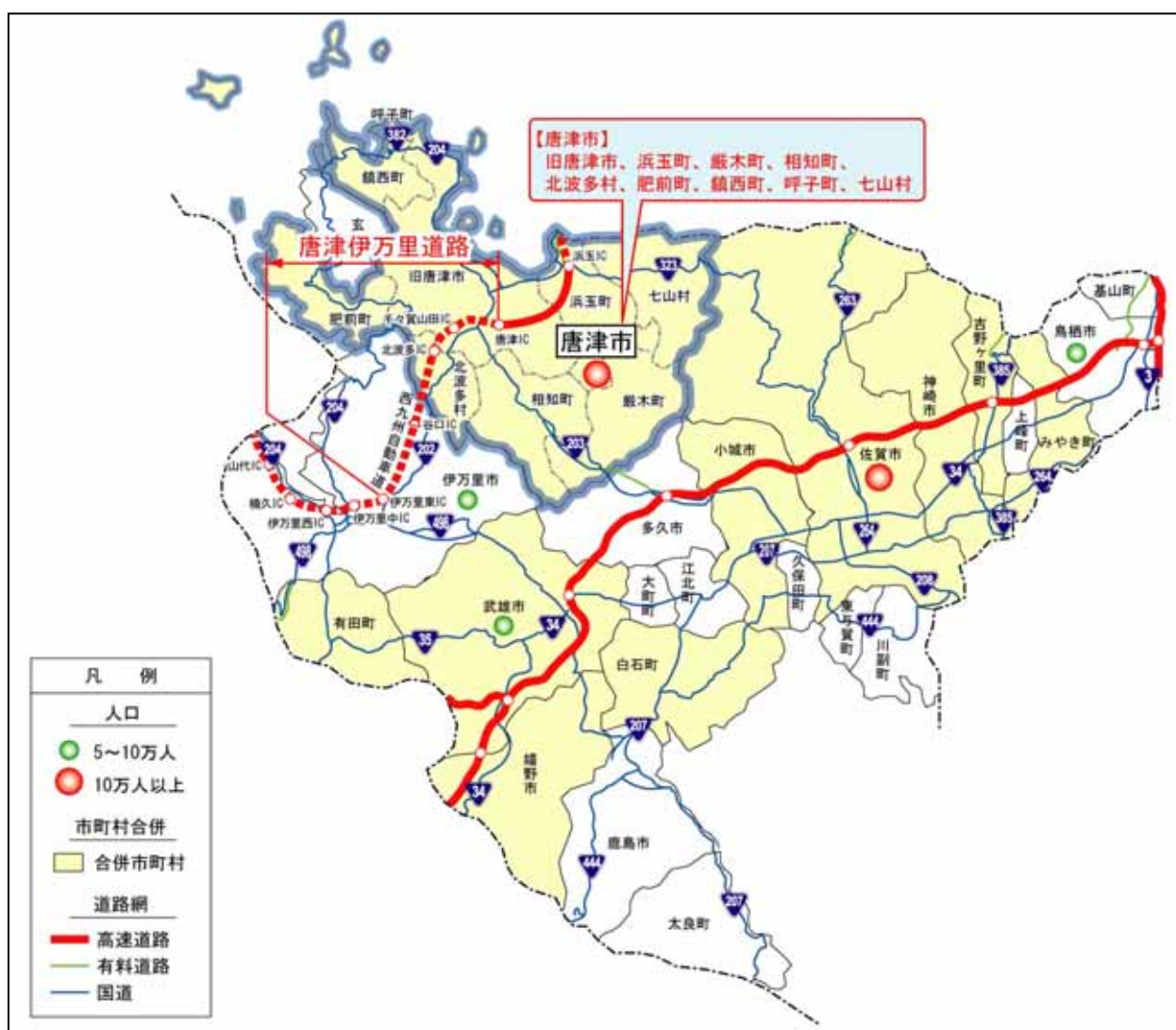
#### 3 - 1 . 事業を巡る社会情勢等の変化

##### ( 1 ) 前回再評価時からの周辺環境の変化

###### 市町村合併

唐津伊万里道路が通過する唐津市は、平成 17 年 1 月 1 日、唐津市、浜玉町、巖木町、相知町、北波多村、肥前町、鎮西町、呼子町の 1 市 6 町 1 村が合併、さらに平成 18 年 1 月 1 日には七山村が合併し、人口 13 万人の都市となった。

平成 17 年以前は、佐賀県における人口 10 万人以上の都市は佐賀市のみであったものの、平成 17 年以降は唐津市が加わり、県内第 2 の都市として拠点性の向上が求められる。

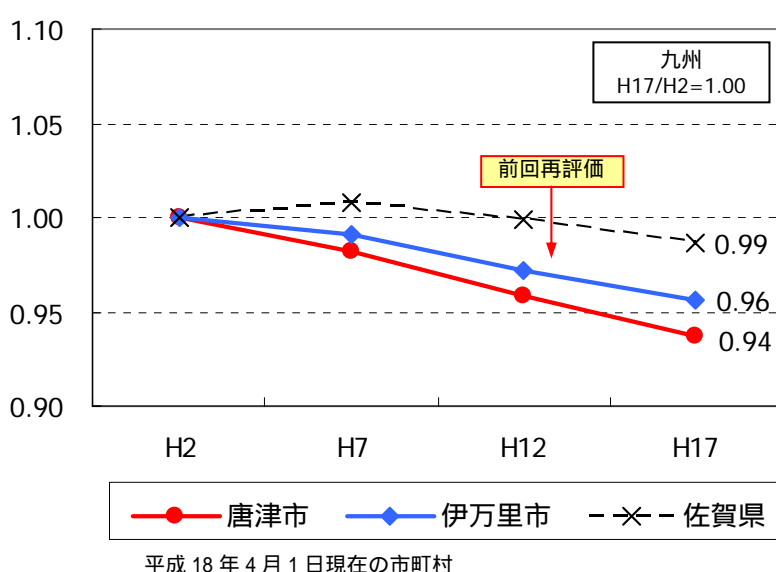


市町村合併状況

## 人口動向

唐津伊万里道路沿線の唐津市、伊万里市はともに人口が減少している。唐津市は、県内第二の都市としての拠点性向上が求められているものの、佐賀県平均の伸び率を下回り、平成2年以降6%減少、再評価年に近い平成12年からは約2%減少している。九州における人口10万人規模の都市の中でも唐津市の人口伸び率は低い。

また、高齢化率は唐津市、伊万里市ともに県平均を上回っており、県内でも高齢化が進展している地域といえる。



人口 10 万人規模の都市の  
人口の伸び率(H17/H2)

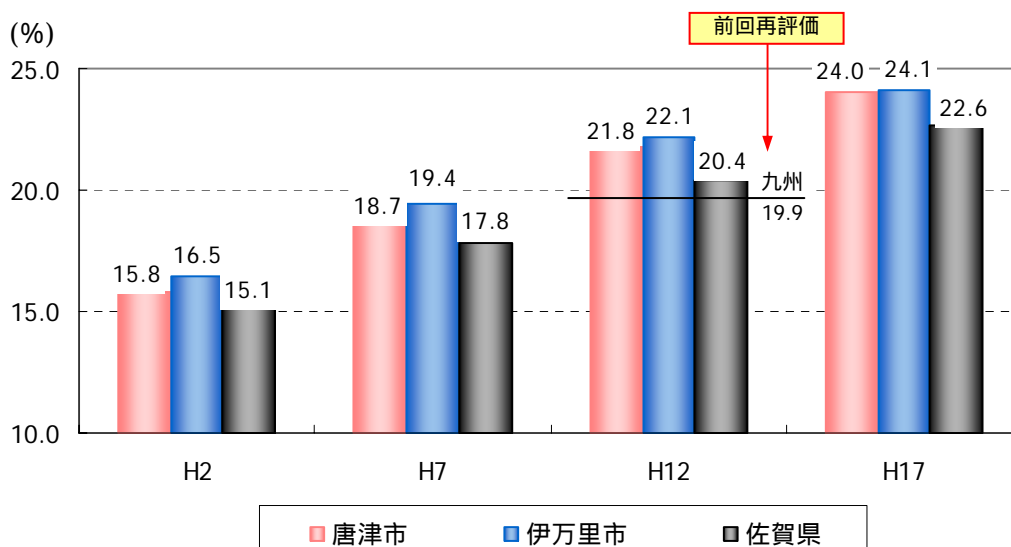
都市名	人口(人)		伸び率 (H17/H2)
	H2	H17	
春日市	88,699	108,394	1.22
諫早市	138,918	144,040	1.04
都城市	130,153	133,076	1.02
別府市	130,334	126,961	0.97
薩摩川内市	106,432	102,370	0.96
唐津市	139,888	131,116	0.94
八代市	145,959	136,885	0.94
延岡市	130,624	121,637	0.93
大牟田市	150,453	131,089	0.87

平成 17 年 10 月 1 日現在の市町村  
ただし、唐津市には七山村含む(平成 18 年 1 月 1 日  
合併後の唐津市)

資料：国勢調査

## 人口の推移

資料：国勢調査



佐賀県は H17 年年齢別人口の確定値を公表。九州全県は公表されていないため、  
H17 の九州平均は算定していない。

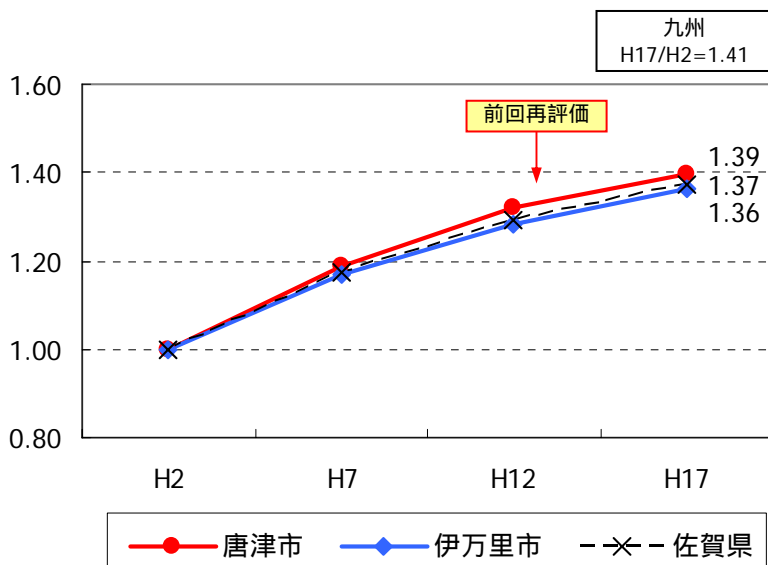
## 高齢化率の推移

資料：国勢調査

### 自動車利用状況

唐津市及び伊万里市における自動車保有台数は、佐賀県、九州と同様に増加しており、平成2年以降約40%、再評価年に近い平成12年から平成17年にかけて5~6%増加している。

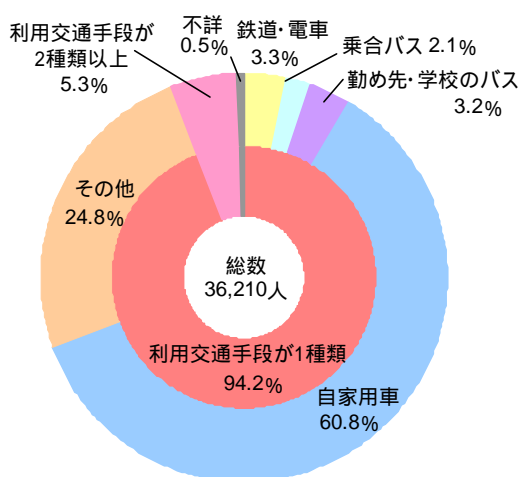
また、通勤通学時の利用交通手段は、旧唐津市で約6割、伊万里市で約8割が自家用車を利用しており、日常的に自動車を利用する自動車依存が高い地域であるといえる。



平成18年4月1日現在の市町村

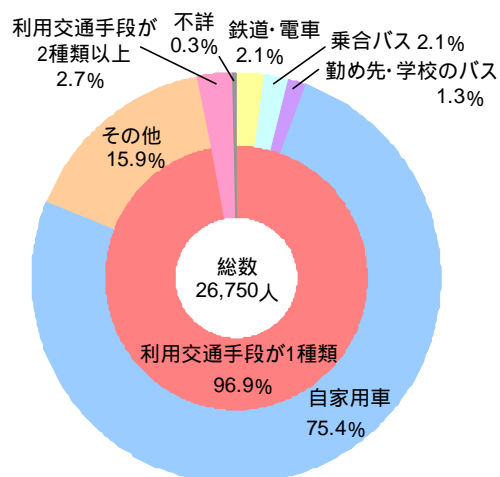
自動車保有台数の推移

資料：市区町村別自動車保有車両数  
市区町村別軽自動車車両数



平成18年4月1日現在の市町村

旧唐津市の通勤通学利用交通手段(H12)



平成18年4月1日現在の市町村

伊万里市の通勤通学利用交通手段(H12)

資料：国勢調査

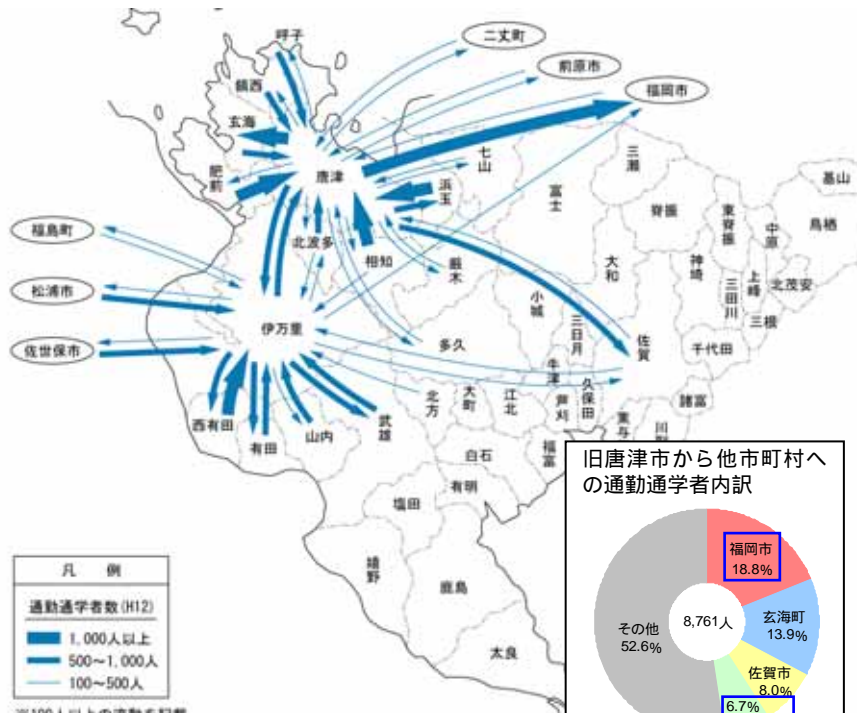
(2) 事業の効果・必要性

効果・必要性1:地域間の交流連携の支援

西九州自動車道沿線市町村間での通勤通学流動が多い。  
 西九州自動車道の整備により、伊万里市から唐津市までの所要時間は現道利用の40分20分(20分短縮)に、伊万里市から福岡市は現道利用の150分60分(90分短縮)に短縮し、地域間交流の活性化が図られる。

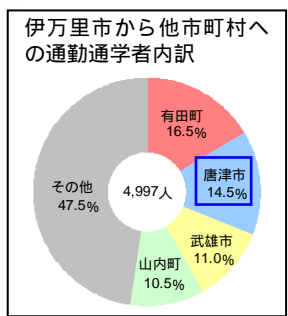
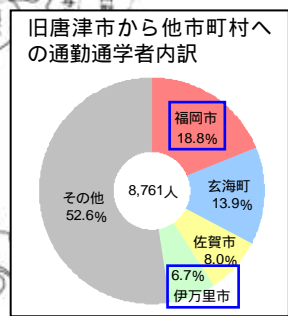
旧唐津市では、他市町村へ通勤通学する人のうち福岡市への通勤通学者が最も多く、19%を占めており、福岡市との結び付きが強くなっている。また、伊万里市への通勤通学者は7%と、玄海町、佐賀市に次いで多い。さらに、伊万里市についても、唐津市への通勤通学者は15%を占めており、西九州自動車道沿線市町村間で日常的な交流が行われている。

西九州自動車道の整備により、伊万里市～唐津市間は現道利用の40分20分と20分短縮、また伊万里市～福岡市間は現道利用の150分60分と90分の短縮となり、地域間交流の活発化が図られる。



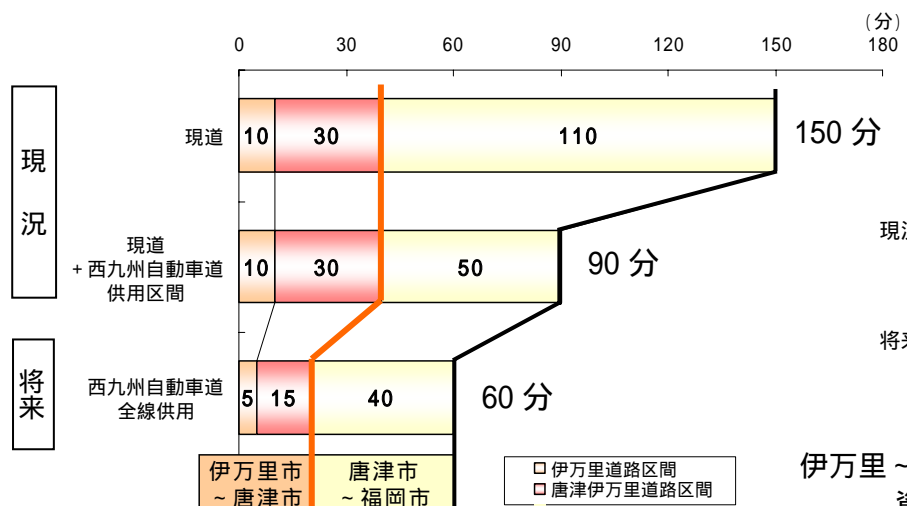
凡例  
 通勤通学者数(H12)  
 1,000人以上  
 500~1,000人  
 100~500人  
 ※100人以上の流動を記載

平成12年10月1日現在の市町村



唐津伊万里道路沿線市町村に関する通勤通学流動(H12)

資料：国勢調査



現況：福岡市は渡辺通りと交差する国道202号、唐津市及び伊万里市は想定しているそれぞれのIC予定地付近との時間。  
 将来：福岡市は天神北ランプ、唐津市及び伊万里市は各IC予定地との時間。1種2級100km/h、1種3級80km/hで算出。

伊万里～唐津～福岡の所要時間変化  
 資料：H11 道路交通センサス

効果・必要性2：物流の効率化支援

広域的な物流の支援

唐津伊万里道路沿線の伊万里港は、アジアとの国際定期コンテナ航路開設に伴いコンテナ取扱量が急増し、平成17年度のコンテナ取扱量は、九州第3位となった。増加するコンテナ貨物への対応を図るべく、七ツ島地区多目的国際ターミナル整備を進めている(平成26年度供用開始)。

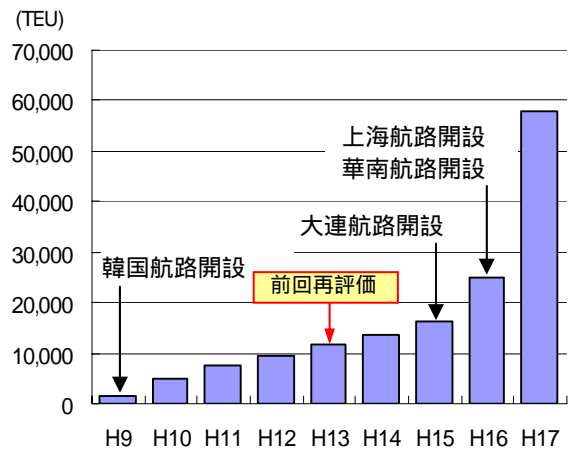
唐津伊万里道路沿線の伊万里港は、アジアの主要都市に近接しており、平成9年に韓国・釜山とを連絡する国際定期コンテナ航路の就航を皮切りに、平成15年に大連航路、平成16年に上海航路及び華南航路が就航している。国際定期コンテナ航路の開設に伴いコンテナ取扱量が急増し、平成17年度のコンテナ取扱量は、福岡、北九州に次ぐ九州第三位を誇るまでに至っている。

このように増加するコンテナ貨物への対応を図るべく、平成26年度の供用開始に向け、七ツ島地区では多目的国際ターミナルの整備が進められている。



伊万里港国際定期コンテナ航路

資料：2005 伊万里港事業概要



伊万里港コンテナ取扱量の推移

資料：伊万里港港湾統計年報 (H17は速報値)



七ツ島地区の岸壁整備状況

水深	延長	バース数	対象船舶	国外・内	主な取扱貨物	備考
-13.0m	260m	1	40,000ト	国外	木材関係コンテナ	工事中
-9.0m	160m	1	10,000ト	国外	コンテナ	154mで暫定供用中
-7.5m	260m	2	5,000ト	国内	国内貨物	供用中
-5.5m	180m	2	2,000ト	国内	国内貨物	新設計画

資料：2005 伊万里港パンフレット

佐賀新聞 平成18年5月31日

## アジア航路 堅調な伸び

# 伊万里港九州3位に

### コンテナ ハードの整備急務

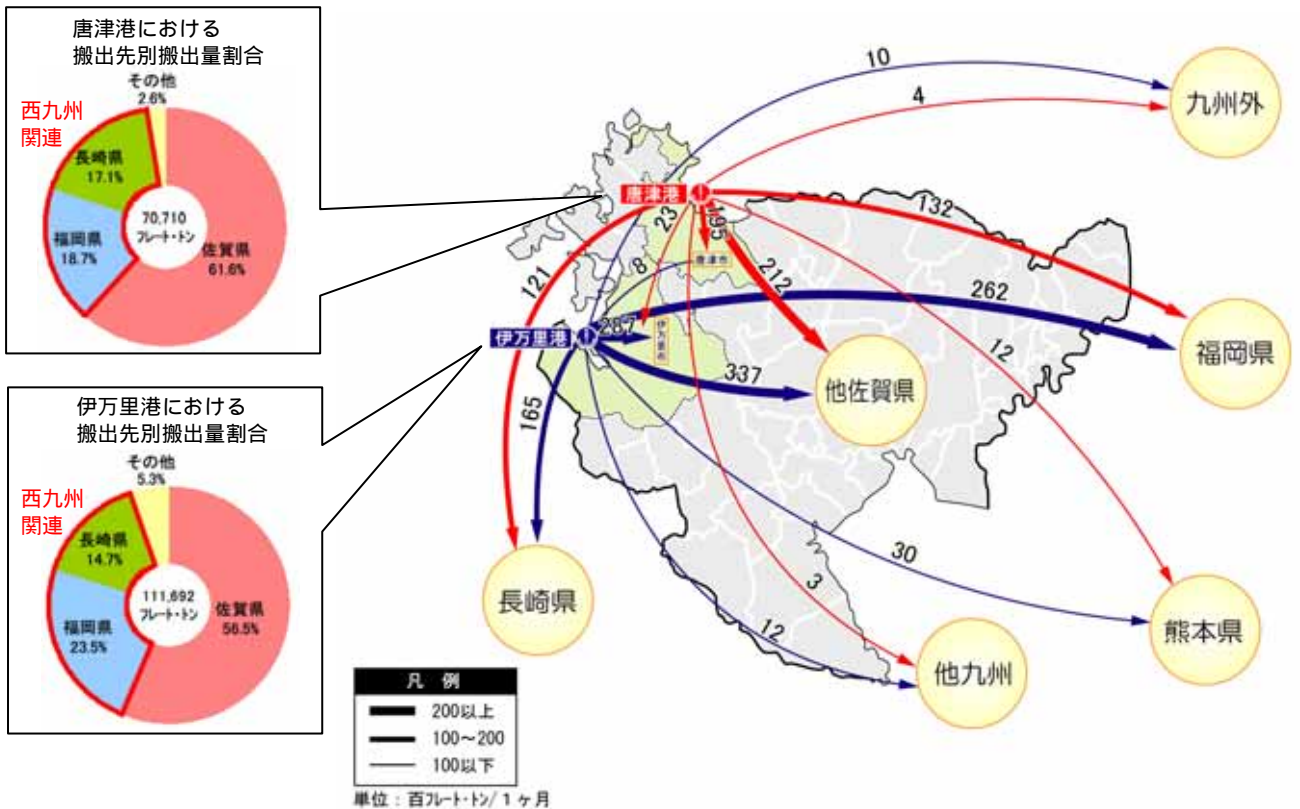
05年

伊万里港のコンテナ取扱量は、北九州の九州第3位に急上昇している。アジア航路の開設に伴い、コンテナ取扱量が急増している。特に、韓国航路、大連航路、上海航路、華南航路の開設により、取扱量は急激に増加している。しかし、コンテナ取扱量の増加に伴い、既存のターミナル施設は容量不足に陥っており、ハードの整備が急務となっている。特に、水深13メートルの岸壁の整備が最重要視されている。この岸壁は、40,000トの大型コンテナ船に対応し、木材関係のコンテナを主に扱う予定だ。また、水深9メートルの岸壁も154メートルで暫定供用中であり、水深7.5メートルの岸壁も既に供用中だ。さらに、水深5.5メートルの岸壁も新設計画が進んでいる。伊万里港は、アジアとの国際定期コンテナ航路の開設に伴い、コンテナ取扱量が急増している。この増加に対応するためには、ハードの整備が不可欠だ。特に、水深13メートルの岸壁の整備が最重要視されている。この岸壁は、40,000トの大型コンテナ船に対応し、木材関係のコンテナを主に扱う予定だ。また、水深9メートルの岸壁も154メートルで暫定供用中であり、水深7.5メートルの岸壁も既に供用中だ。さらに、水深5.5メートルの岸壁も新設計画が進んでいる。伊万里港は、アジアとの国際定期コンテナ航路の開設に伴い、コンテナ取扱量が急増している。この増加に対応するためには、ハードの整備が不可欠だ。特に、水深13メートルの岸壁の整備が最重要視されている。この岸壁は、40,000トの大型コンテナ船に対応し、木材関係のコンテナを主に扱う予定だ。また、水深9メートルの岸壁も154メートルで暫定供用中であり、水深7.5メートルの岸壁も既に供用中だ。さらに、水深5.5メートルの岸壁も新設計画が進んでいる。

伊万里港に陸揚げされた貨物の約 4 割、また唐津港の約 4 割が、西九州自動車道沿線の福岡県・長崎県へ搬送されている。  
 唐津伊万里道路が整備されることにより、七ツ島地区から高速道路 IC へのアクセス性が向上し(35 分 → 15 分)、広域的な物流の支援が図られる。

伊万里港に陸揚げされた貨物の 24%は福岡県、15%は長崎県へ、また、唐津港においては 19%が福岡県、17%が長崎県へ搬送されており、伊万里港、唐津港ともに県境を越えた広域的な背後圏を有する港湾となっている。

唐津伊万里道路が整備されることにより、七ツ島地区から高速道路 IC へのアクセス性が向上(35 分 → 15 分)するとともに、「伊万里港」「福岡県方面」「唐津港」「長崎県方面」への輸送時間が短縮し、広域的な物流の支援が図られる。

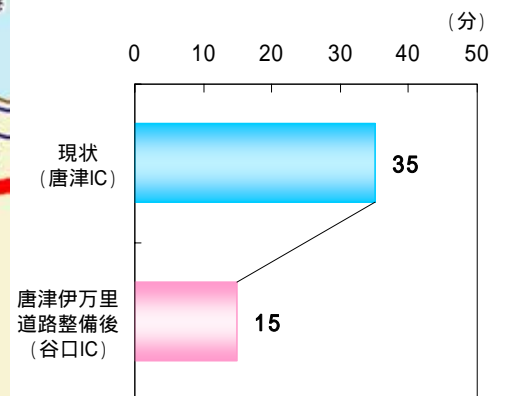


唐津港・伊万里港における県内外搬出先および搬出量

資料：平成 17 年陸上出入貨物調査



七ツ島地区から高速道路 IC までの所要時間変化



資料：H11 道路交通センサス

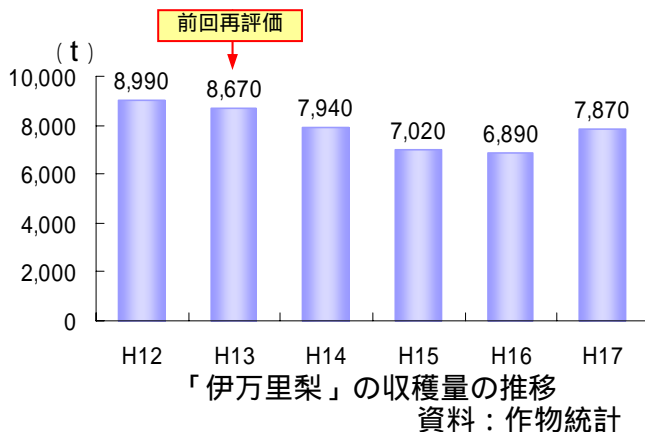


## 地域ブランドの支援

伊万里の特産品である「伊万里梨」の収穫量は、平成 16 年以降増加傾向にあり、平成 17 年は 3 割を関東へ、2 割を中部へ、また 2 割を関西・中国へ出荷している。東京中央卸売市場では、7 月に入荷する「なし」の 45% は「伊万里梨」である。唐津伊万里道路の整備により、搬送時の振動軽減による商品価値の向上、輸送コストの低減が図られ、地域ブランドの確立を支援する。

伊万里市周辺地域では、「伊万里梨」を代表とする各種梨が特産品であり、平成 16 年以降収穫量は増加している。平成 17 年においては、JA 伊万里で取り扱っている「伊万里梨」のうち 29% が関東、21% が関西・中国、18% が中部へ出荷されている。東京中央卸売市場では、7 月に入荷する「なし」の 45% が「伊万里梨」である。

唐津伊万里道路整備により、搬送時の振動によって生じる荷痛みが減少し、商品価値の向上が図られるとともに、輸送時間短縮による輸送コストの低減など、良質で安価な商品を大都市圏へと提供することが可能となり、地域ブランドの確立が図られる。



「伊万里梨」の集出荷の流れ

資料：JA 伊万里ヒアリング結果 道路 - 1 - 15

## 伊万里市の特産品

伊万里梨



伊万里牛



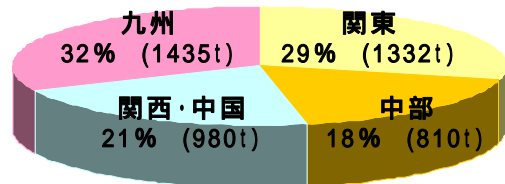
伊万里焼



## 東京都中央卸売市場における「なし類」取扱い実績(H17年7月)

青果	産地	入荷量 t/7月	シェア (%)
なし類	佐賀 (伊万里梨)	58	45%

資料：東京都中央卸売市場資料



## 「伊万里梨」の主な販売先割合(H17)

資料：JA 伊万里資料

< JA 伊万里 園芸流通センター長  
ヒアリング結果 >

- ・ **ブランドとしての価値を高めるためには、形がよい、甘いなどの商品価値のみならず、『いかにして鮮度を保持した状態で消費地に届けるか』ということが最も重要。**
- ・ **昨年末に開通した西九州自動車道の整備は、それまでたびたび発生していた天候や渋滞などによる長時間輸送を短縮し、顧客の要望に合わせた時間に正確に出荷することが可能となり、顧客との信頼関係が向上し、**ブランド品を支える重要な役割を担っている。****

効果・必要性3：交通混雑の緩和

唐津伊万里道路に並行する国道202号では、恒常的な交通混雑が発生している。唐津伊万里道路の整備により、国道202号では交通量削減による交通混雑の緩和が図られるとともに、走行性向上によるCO<sub>2</sub>排出量の削減効果も期待される。

唐津伊万里道路に並行する国道202号の平成2年からの交通混雑状況を見てみると、年次によって若干の変動はあるものの、各年度混雑度が1.0を上回っており、恒常的な交通混雑が発生している状況となっている。

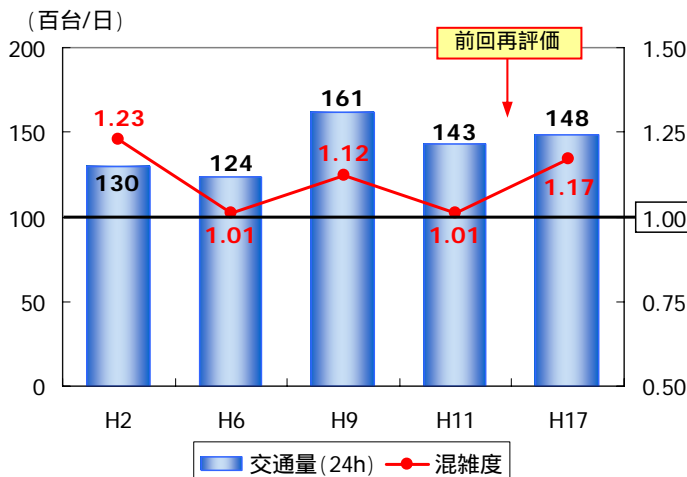
国道202号に並行する唐津伊万里道路整備により、現在国道202号を利用している沿線通過交通(唐津市～伊万里市等)が国道202号から西九州自動車道に転換されることが予測され、国道202号の交通量削減による交通混雑の解消が図られる。

さらに、交通混雑の解消に伴う走行性の向上により、地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>排出量の削減効果も期待される。



国道202号交通混雑状況  
(唐津市和多田)

交通量・混雑度の推移 (NO.1032)



期待される整備効果

～渋滞損失時間の削減～  
〔未整備時〕〔整備時〕  
65.8 6.3 万人時間/年  
(59.5 万人時間/年削減)

～CO<sub>2</sub>排出量の削減～  
〔未整備時〕〔整備時〕  
172.2 171.6 万t-CO<sub>2</sub>/年  
(0.5 万t-CO<sub>2</sub>/年削減  
唐津城の敷地面積に相当する  
森林面積の112倍)

唐津伊万里道路と並行する国道202号の交通混雑状況

センサス NO.	日交通量(台/日)					混雑度				
	H2	H6	H9	H11	H17	H2	H6	H9	H11	H17
1029	26,703	29,003	32,659	29,023	31,040	1.03	0.75	0.88	1.10	0.89
1030	11,624	12,619	13,943	13,302	12,732	0.84	0.90	0.96	0.87	0.80
1031	11,535	12,543	14,943	14,298	15,857	0.89	0.86	1.11	1.01	1.05
1032	13,013	12,379	16,143	14,298	14,812	1.23	1.01	1.12	1.01	1.17

資料：道路交通センサス

## 効果・必要性4:地域の防災機能・安全性の向上

### リダンダンシーの確保

唐津伊万里道路に並行する国道202号には、平成8年度道路防災総点検における要対策箇所(未対策箇所)が3箇所残存、また平成18年5月には岩石崩落のおそれのため片側交通規制が行われている。

唐津伊万里道路の整備により、迂回路が確保され安全な交通網の確保が図られる。

唐津伊万里道路に並行する国道202号は、当該地域の主要幹線道路としての機能を担っているが、平成8年度の道路防災総点検における要対策箇所(18箇所)のうち、唐津伊万里道路の並行区間に未対策箇所が3箇所残っている。

また、平成18年5月22日には、岩石崩落の恐れのため片側交通規制を実施し、応急対策を施した。

このように、防災面からの問題を抱える国道202号に並行して唐津伊万里道路が整備されることにより、当該箇所の迂回路が確保され安全な交通網の確保が図られる。



平成8年度道路防災総点検における要対策箇所のうち未対策箇所



国道202号H8防災点検箇所(唐津市北波多)  
急斜面に表層崩壊の跡が生じており、崩壊に伴う転石や浮石化の恐れがある岩が認められる。



平成18年5月22日応急対策施工状況  
(唐津市北波多)  
岩石の崩落の可能性があるため、国道を片側規制し、大型土嚢を設置した。

## 交通安全性の向上

国道 202 号は通学路に指定されているものの、歩道幅員 2m未満や歩道未設置区間がある。また、死傷事故率、大型車混入率が県平均を上回る区間もあり、通学時の安全性が脅かされる状況にある。

唐津伊万里道路の整備により、国道 202 号では交通量削減に伴う交通事故の減少が予測され、安全性の向上が期待される。

唐津伊万里道路に並行する国道 202 号沿線には、小学校、中学校が立地しており、通学路に指定されている。しかしながら、歩道幅員が 2m未満の区間、さらには歩道未設置区間も存在している。

また、死傷事故率が佐賀県平均の 2 倍を超える区間、大型車混入率が佐賀県平均を超える区間もあり、それらの区間と歩道狭小区間が重なり、通学時の安全性がさらに脅かされる状況となっている。

国道 202 号に並行する唐津伊万里道路が整備されることにより、国道 202 号から西九州自動車道へ交通が転換し、交通量削減に伴う交通事故の減少が予測され、国道 202 号の安全性向上が期待できる。



国道 202 号の死傷事故率・大型車混入率及び歩道整備状況

資料：九州地方整備局資料  
H17 道路交通センサス

### 死傷事故率・大型車混入率及び歩道設置率平均

		対象区間平均	佐賀県平均
死傷事故率	単路部	65.9件/億台キロ	68件/億台キロ
	交差点	127.8件/億台キロ	105件/億台キロ
12時間 大型車混入率	国道	14.4%	13.7%
歩道設置率	国道	88.1%	73.4%

資料：九州地方整備局資料  
H17 道路交通センサス

### 期待される整備効果

～死傷事故件数の削減～

(未整備時) (整備時)  
95 件/年 27 件/年  
(68 件/年削減)

## 救急医療施設へのアクセス性向上

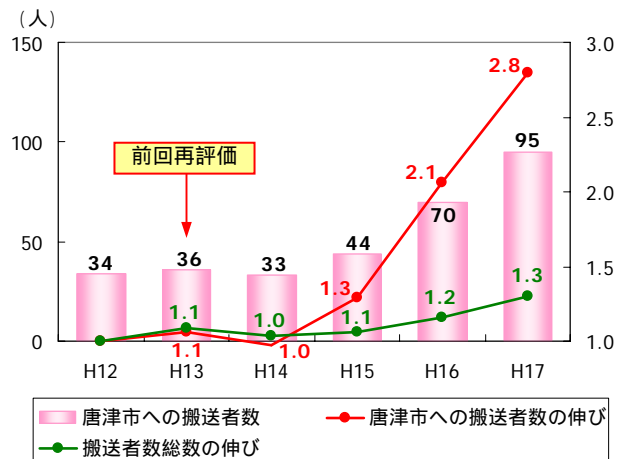
伊万里市から唐津市への救急搬送者は年間 95 人(平成 17 年実績)であり、平成 12 年から 17 年にかけて約 3 倍に増加している。

唐津伊万里道路を含む西九州自動車道の整備により、伊万里市から唐津赤十字病院までは、50分 30分(約 20 分の時間短縮)で搬送することが可能となり、安全・安心な暮らしの実現に寄与する。

伊万里市消防本部管内の救急搬送者数は増加しており、平成 17 年は 2,248 人となっている。特に、隣接する唐津市への救急搬送者数が急増しており、平成 12 年以降約 3 倍となっている。

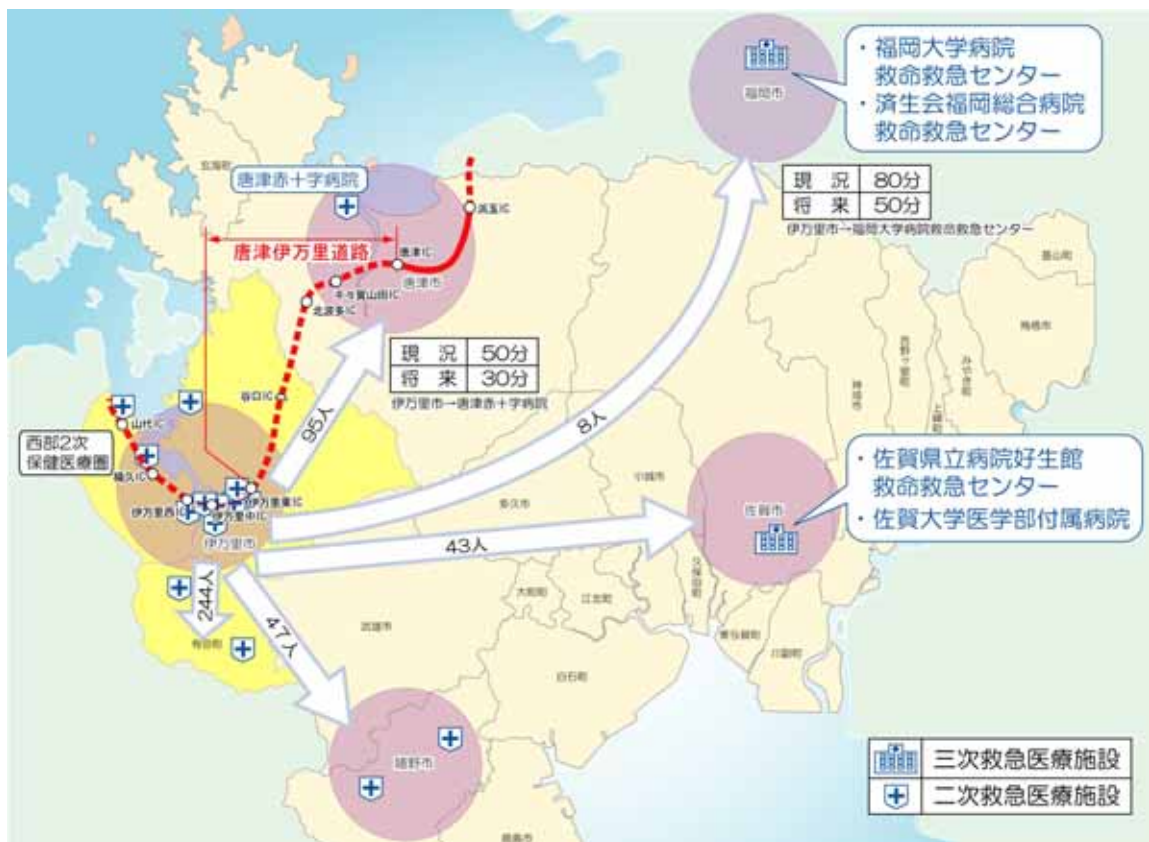
伊万里市内には、二次救急医療施設が 10 施設あるものの、唐津市内の二次救急医療施設である唐津赤十字病院は、診療科目 19 科目、病床数 337 床と、伊万里市内の施設よりも診療科目数、病床数が多い。そのため、伊万里市内から通院している人も多く、当該病院へ救急搬送するケースが増えてきている。

唐津伊万里道路を含む西九州自動車道が整備されることにより、伊万里市から唐津赤十字病院まで 30 分で搬送することが可能となり、安全・安心な暮らしの実現に寄与する。



伊万里市から唐津市への搬送者数の推移

資料：伊万里市消防本部資料



伊万里西 IC 予定地付近から救急医療施設までの時間。  
将来は、1種 2 級 100km/h、1種 3 級 80km/h で算出。

伊万里市から市外への搬送者数(H17)

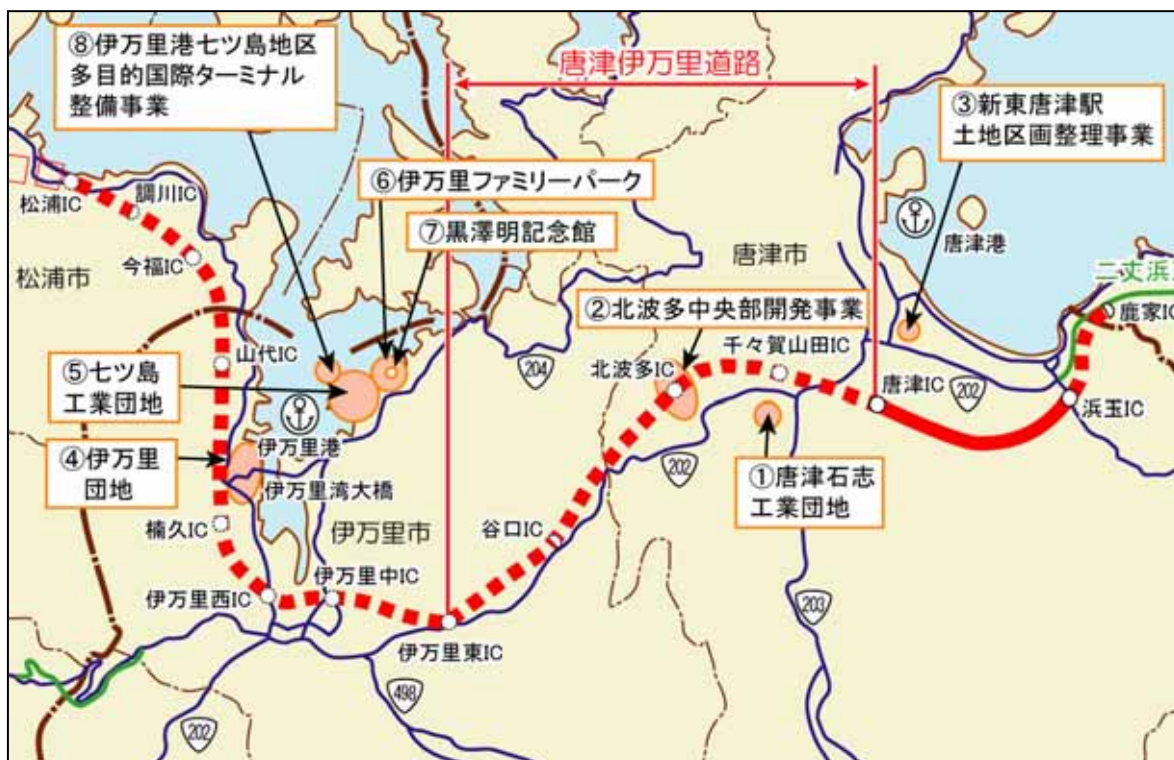
資料：佐賀県保健医療計画  
伊万里市消防本部資料  
H11 道路交通センサス

効果・必要性5:活力ある地域づくりの支援

開発計画の支援

唐津伊万里道路沿線の唐津市・伊万里市周辺では、工場団地をはじめとした開発計画が多数展開している。

唐津伊万里道路沿線の唐津市や伊万里市周辺地域では、工場団地をはじめとした開発計画が数多く展開しており、唐津道路(浜玉IC~唐津IC)が供用した平成17年度には、唐津石志工業団地が完成している。



唐津伊万里道路沿線における開発計画位置図

唐津伊万里道路沿線における開発計画概要

番号	名称等	所在地	規模	完成予定時期	内容
	唐津石志工業団地	佐賀県唐津市石志	4.2ha	平成17年 (分譲中)	工業団地
	北波多中央部開発事業	佐賀県唐津市北波多田中 及び徳須恵	10.0ha	平成19年度 (以降分譲)	住宅開発
	新東唐津駅土地区画整理事業	佐賀県唐津市	27ha	平成20年度	住宅、道路、 公園等整備
	伊万里団地	佐賀県伊万里市山代町	113.3ha	平成10年 (分譲中)	工業団地
	七ツ島工業団地	佐賀県伊万里市黒川町	148.2ha	昭和48年 (分譲中)	工業団地
	伊万里ファミリーパーク	佐賀県伊万里市黒川町	28ha	平成18年一部開園 完成時期未定	公園
	黒澤明記念館	佐賀県伊万里市黒川町 伊万里市ファミリーパーク内	1.4ha	平成19年より 順次オープン	記念館
	伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業	佐賀県伊万里市	-13m 岸壁	平成26年度	岸壁整備

伊万里港に近接する伊万里団地では、シリコンウエハー製造大手のSUMCOが進出協定を締結し、伊万里市内の既存工場と合わせ、世界最大の製造拠点にする計画である(平成20年1期工事分操業開始予定)。

唐津伊万里道路の整備により、定時制の確保、輸送コストの削減が期待されるとともに、福岡市場への拡大、福岡方面からの雇用の確保など企業進出を支援する。

また、伊万里団地では企業の進出、拡張などが相次いでおり、平成18年5月には、シリコンウエハー製造大手のSUMCOが伊万里団地に新工場を建設する進出協定を締結、伊万里市内にある既存工場と合わせ、世界最大の製造拠点にする計画である。(平成20年4月1期工事分操業開始予定。将来的な雇用規模は700人。)

唐津伊万里道路の整備により、定時性の確保、輸送コストの削減が期待されるだけでなく、福岡方向との所要時間が短縮されるため、福岡市場への拡大、福岡方面からの雇用確保が期待できるなど、沿線工業団地への企業進出を支援する。



伊万里団地立地企業

資料：伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業再評価資料、伊万里市資料

平成15年以降の

伊万里団地企業進出・拡張状況

年月	企業進出・拡張状況
H15.10	伊万里木材 (木材市場操業開始)
H16.3	日本水産 (配合飼料工場操業開始)
H16.5	中国木材 (第2期展開 集成材操業開始)
H16.9	中国木材 (第3期展開 プレカット工場操業開始)
H17.6	西九州木材事業協同組合 (ラミナ材製造) 操業開始 ラミナ材: 集成材用の薄い板
H20.4	SUMCO (1期工事分操業開始予定)
H20.8	SUMCO (2期工事分完成予定)
H21頃	中国木材 (第4期展開 製材工場操業開始予定)

番号は上図と対応

資料：伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業再評価資料、伊万里市資料、新聞記事

西日本新聞 平成18年5月12日

## 雇用増に期待の声

### 伊万里市のSUMCO新工場計画

SUMCOが新工場を建設する  
伊万里市山代町の伊万里団地  
(伊万里市提供)

## 地元には波及効果大

### 行政は税減免で優遇措置

世界約200カ国に展開するシリコンウエハー(半導体)製造大手のSUMCO(和歌山県)が、伊万里市の伊万里団地に新工場を建設する計画を12日、地元伊万里市に発表し、地元企業との連携を促す。伊万里市は、建設費の約1割を補助し、将来的に約700人の雇用を創出する見込み。伊万里市は、建設費の約1割を補助し、将来的に約700人の雇用を創出する見込み。

SUMCO進出地(伊万里団地)

伊万里市(佐賀県)の概要図

## 観光活性化の支援

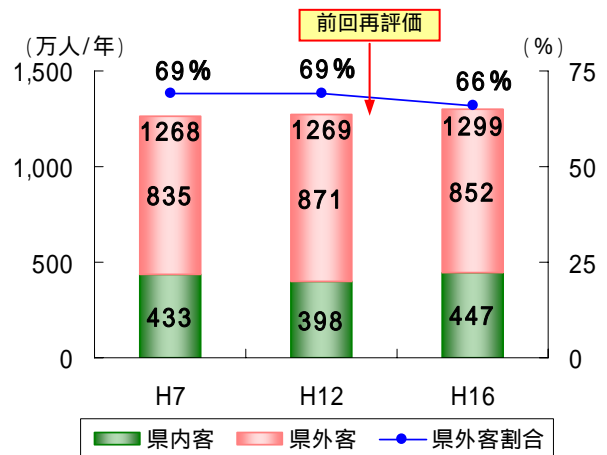
唐津・伊万里地域を訪れる観光客の7割が県外客であり、福岡県からは年間400万人が訪れている。伊万里市では、平成16年度より「畑の中のレストラン」を開催し、今年度は参加募集範囲を福岡市まで拡大する。

唐津伊万里道路を含む西九州自動車道の整備により、県外からの観光客の利便性向上が図られるとともに、観光開発を支援し観光活性化が期待される。

唐津伊万里道路沿線の唐津市や伊万里市周辺地域には、唐津城や虹の松原等の観光地が多く存在しており、観光客数も増加傾向にある。この地域を訪れる観光客の約7割が県外客であり、隣接する福岡県からは佐賀県内観光客数とほぼ同数の約400万人/年が訪れている。

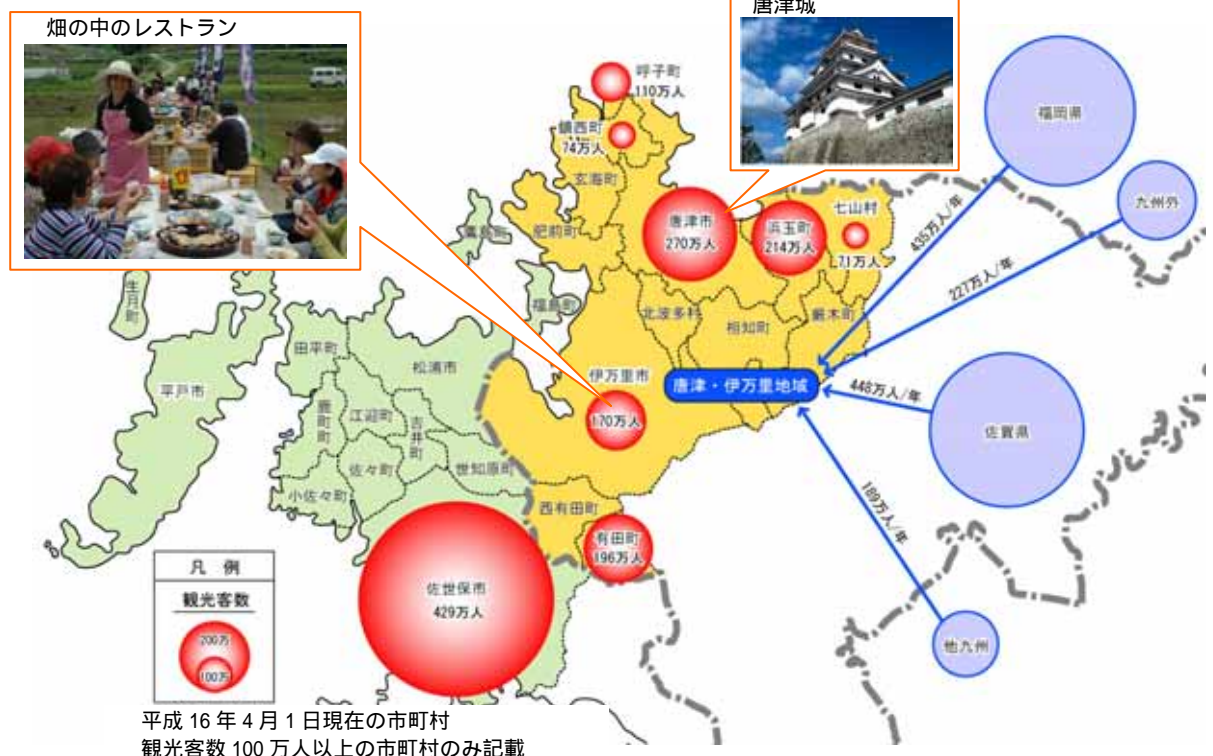
伊万里市では、消費者を農業の生産現場に案内し、農作業体験や新鮮な食材で農家が作った料理を楽しんでもらう「畑の中のレストラン」を平成16年度より開催している。平成18年度は福岡市からも参加者を募集するなど、グリーンツーリズムによる観光活性化を進めている。

唐津伊万里道路を含む西九州自動車道の整備により、県外からの観光客の利便性向上が図られるとともに、沿線地域で取り組んでいる新たな観光開発を支援し、更なる観光活性化が期待される。



唐津・伊万里地域の観光客発地別人数の推移

資料：佐賀県観光客動態調査



西九州自動車道沿線の観光客数と唐津・伊万里地域への発地別観光客数(H16)

資料：佐賀県観光客動態調査  
長崎県観光統計  
伊万里市HP



効果・必要性6:地元要望の状況

唐津伊万里道路沿線では、期成会や道路利用者から早期整備への要望が寄せられている。また、沿線利用者の約7割が西九州自動車道の延伸を希望している。

西九州自動車道沿線地域では、西九州自動車道の早期整備を図るため、複数の期成会が設立されており、積極的な要望活動が行われている。

また、沿線地域の道路利用者からも、西九州自動車道の早期供用に対する声が数多く寄せられており、西九州自動車道整備に対する地元の期待は非常に大きい。

さらに、唐津道路（唐津 IC～浜玉 IC）供用後に、唐津市近郊の道の駅、特産品販売施設等で実施したアンケート調査においては、約7割の方が「西九州自動車道の延伸」を希望している。

西九州自動車道沿線地域住民の声



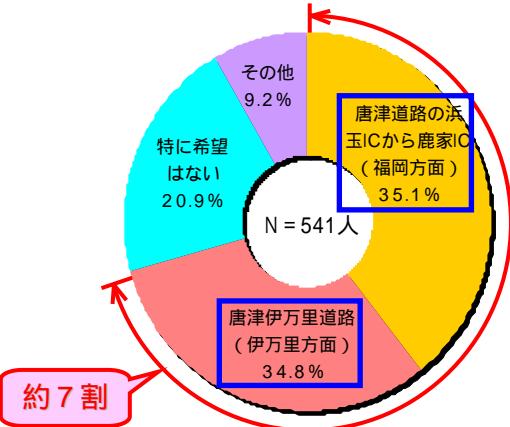
伊万里地区

国内農産物が見直されている今日、**新鮮で安全・安心な農産物を大都会の消費者に早くお届けするために西九州自動車道の早期全線開通が是非必要**であります。  
 南波多町 婦人連絡協議会会長 **松本 祐子**さん

唐津地区

将来的に福岡方面、長崎方面とも結ばれると、**余暇の過ごし方が大きく変わるもの**と楽しみにしています。また消防職員という防災に携わる者として、この高速交通体系は、**1分1秒を争う災害に対し、計り知れない意義**を持つものです。**一日も早い全線開通が待たれます。**  
 唐津市 消防職員 **折尾 命**さん

九州大学の伊都キャンパス移転も始まり、学術研究都市としての壮大な構想のもとに**福岡～糸島～唐津地区の一体的な学術ゾーン**としても輝かしい将来が描かれています。このような地域にあって**高規格道路の整備効果は計り知れないものであると同時に必要不可欠**です。  
 昭和自動車㈱ 代表取締役専務 **堤 雅史**さん



都市部では、生産者の顔がみえる新鮮な野菜を求める消費者が多くなっています。平成 14 年より福岡のスーパーで唐津産農産品コーナーを併設して頂くことが出来、現在は 19 店舗に出荷しています。西九州自動車道によって可能となった**直販事業は、今や唐津農業の浮揚に欠かせないもの**になっています。さらなる消費者ニーズに応えるためにも**今後の西九州自動車道の延伸整備に期待を寄せています。**  
 JAからつ (唐津農業協同組合) **才田代表理事組合長**さん

今後の西九州道に期待する整備  
 資料：唐津道路開通後アンケート調査結果

### 3 - 2 . 事業の投資効果

費用便益分析の結果 (一般国道 497 号 唐津伊万里道路 L=18.1km)

#### ( 1 ) 事業の目的

唐津伊万里道路は、西九州自動車道のうち、佐賀県唐津市～伊万里市を結ぶ延長 18.1km の自動車専用道路である。

本道路は、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与するとともに、当該地域の主要幹線道路である一般国道 202 号の代替路線としての機能も有する。

#### ( 2 ) 費用便益効果分析結果

##### 全事業

##### 1) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 18 年度			
初年便益	45 億円	8 億円	4 億円	57 億円
基準年における 現在価値(B)	1,191 億円	187 億円	107 億円	1,485 億円

##### 2) 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 18 年度		
単純合計	841 億円	178 億円	1,019 億円
基準年における 現在価値(C)	685 億円	70 億円	755 億円

##### 3) 評価指標の算定結果 (全事業区間)

費用便益費(C B R)	B / C = 2.0
--------------	-------------

上記の費用便益比を算定するにあたって仮定した条件：

平成 23 年度 唐津 IC～北波多 IC 暫定供用  
 平成 25 年度 北波多 IC～谷口 IC 暫定供用  
 平成 27 年度 谷口 IC～伊万里東 IC 暫定供用 全線供用  
 平成 37 年度 唐津 IC～伊万里東 IC 完成供用 全線完成

残事業

1) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 18 年度			
初年便益	45 億円	8 億円	4 億円	57 億円
基準年における 現在価値(B)	1,191 億円	187 億円	107 億円	1,485 億円

2) 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 18 年度		
単純合計	643 億円	178 億円	821 億円
基準年における 現在価値(C)	471 億円	70 億円	541 億円

3) 評価指標の算定結果(残事業区間)

費用便益費(C B R)	$B / C = 2.8$
--------------	---------------

上記の費用便益比を算定するにあたって仮定した条件:

平成 23 年度	唐津 IC ~ 北波多 IC 暫定供用	
平成 25 年度	北波多 IC ~ 谷口 IC 暫定供用	
平成 27 年度	谷口 IC ~ 伊万里東 IC 暫定供用	全線供用
平成 37 年度	唐津 IC ~ 伊万里東 IC 完成供用	全線完成

### 3 - 3 . 事業の進捗状況

#### ( 1 ) 事業の経緯

- 平成 2 年：基本計画
- 平成 4 年：事業化
- 平成 6 年：事業アセス
- 平成 9 年：整備計画
- 平成 10 年：唐津地区用地着手
- 平成 12 年：北波多地区用地着手
- 平成 13 年：用地促進  
( 事業再評価 )
- 平成 14 年：唐津地区工事着手
- 平成 15 年：用地促進、北波多地区工事着手
- 平成 16 年：用地促進及び工事促進
- 平成 17 年：松浦川大橋下部工工事着手及び伊万里地区用地着手

#### ( 2 ) 事業費の進捗状況

	全体事業費	H17 年度未進捗	進捗率
事業費	878 億円	153 億円	17%
うち用地補償費	128 億円	83 億円	65%

## 4. 事業の進捗の見込み

### (1) 今後の事業の見通し

平成 17 年度末現在、事業進捗率は事業費ベースで 17%、また用地進捗率は 65%である。西九州自動車道としての事業効果を早期発現できるよう、平成 17 年度に部分供用した唐津道路(唐津 IC～浜玉 IC)に連続する唐津 IC～北波多 IC 間の整備を重点的に進めている。

本年度は、中原、養母田地区の用地取得完了、養母田トンネルの工事着手を目指しており、引き続き関係機関及び地権者等と協議を進め、未供用区間の早期供用に向け整備を推進していく。

### (2) 地域の協力体制

期成会等

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
西九州自動車道建設促進期成会 (会長：唐津市長)	福岡市、前原市、二丈町、志摩町、唐津市、伊万里市、武雄市、玄海町、有田町、佐佐保市、平戸市、松浦市、波佐見町、江迎町、鹿町町、佐々町の首長及び議会議員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.14 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（第39回） H16.8.24 西九州自動車道整備促進要望 H16.10.18 西九州自動車道整備促進要望 H16.11.11 西九州自動車道整備促進要望 H16.11.21 平成16年度西九州自動車道建設促進総決起大会 H17.7.8 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（第40回） H17.8.23 西九州自動車道整備促進要望 H17.10.7 西九州自動車道整備促進要望 H17.10.27 西九州自動車道建設促進に関する意見交換会 H17.10.27 西九州自動車道整備促進要望 H18.7.4 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（第41回）
西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会 (会長：伊万里市山代町区長会会長)	伊万里地区、大坪地区、立花地区、牧島地区、二里町、東山代町、各区長会会長及び副会長 地元婦人連絡協議会会長 商工会議所会頭 土木事務所所長 地元市議会議員 農業協同組合代表理事組合長 地元公民館館長 地元県議会議員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.8.11 西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会総会 H17.7.26 西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会総会 H18.7.25 西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会総会
伊万里市西九州自動車道建設促進期成会 (会長：伊万里市長)	伊万里市、市議会及び関係行政機関の役職員 商工会議所・農業協同組合の役職員 関係地域団体及び経済団体等の役職員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.8.4 伊万里市西九州自動車道建設促進期成会総会 H16.11.2 西九州自動車道早期整備要望 H16.11.19 西九州自動車道早期整備要望 H17.7.20 伊万里市西九州自動車道建設促進期成会総会 H17.11.15 西九州自動車道早期整備要望 H18.7.12 伊万里市西九州自動車道建設促進期成会総会

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
伊万里・平戸・松浦市議会 西九州自動車道建設促進 協議会 (会長：松浦市議会 特別委員会委員長)	伊万里市、松浦市、平戸市 議会の特別委員会委員 伊万里市、松浦市、平戸市の 議会議長	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.10.18 西九州自動車道建設促進要望 H16.10.20 西九州自動車道建設促進要望 H17.2.14 西九州自動車道建設促進要望
山代町西九州自動車道 建設促進協議会 (会長：伊万里市山代町 区長会会長)	伊万里市山代町各区長 地元県議会議員 地元市議会議員 地元団体 土木事務所所長	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.16 山代町西九州自動車道建設促進協議会総会 H17.7.26 山代町西九州自動車道建設促進協議会総会 H18.7.25 山代町西九州自動車道建設促進協議会総会
西九州北部地域開発促進 協議会 (会長：伊万里市長)	佐世保市、平戸市、松浦市、 伊万里市、唐津市、世知原町、 佐々町、小佐々町、江迎町、 鹿町町、福島町、宇久町、 小値賀町、鷹島町、有田町 西有田町、波佐見町 の首長及び議会議長	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.9.29 西九州自動車道建設促進要望 H17.10.28 西九州自動車道建設促進要望
南波多町西九州自動車道 建設促進期成会 (会長：伊万里市南波多町 関係区代表)	南波多町の各区長 重橋区、井手野区代表 地元市議会議員 農業協同組合支所長 地元公民館館長 伊万里市建設部長 土木事務所所長	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.9 南波多町西九州自動車道建設促進期成会総会 H17.7.8 南波多町西九州自動車道建設促進期成会総会 H18.7.10 南波多町西九州自動車道建設促進期成会総会
西九州自動車道千々賀山田 ランプ建設促進期成会 (会長：唐津駅南振興会会長)	唐津市千々賀区、山田区、 神田区、石志区、畑島区 の区長 唐津駅南振興会の役職員 唐津商工会議所会頭 地元県議会議員 地元市議会議員	西九州自動車道千々賀山田ランプ建設実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.28 西九州自動車道千々賀山田ランプ建設促進期成会 通常総会（第4回） H17.9.30 西九州自動車道千々賀山田ランプ建設促進期成会 通常総会（第5回）
西九州自動車道建設推進 協議会 (会長：佐賀県知事)	佐賀県、福岡県、長崎県の 知事及び議会議長 福岡市の首長及び議会議長 佐賀県、福岡県、長崎県、 福岡市の関係行政機関の役職員 九州地方整備局長 福岡国道、佐賀国道、長崎河川 国道事務所長 日本道路公園九州支社長 佐賀県、福岡県、長崎県の 道路公社理事長 地元の衆議院議員及び参議院 議員	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.22 西九州自動車道建設推進協議会 H16.8.18 西九州自動車道整備促進要望（西九州自動車道 建設促進三県議員懇話会） H17.7.22 西九州自動車道建設推進協議会 H18.7.20 西九州自動車道建設推進協議会
北松浦半島振興対策協議会 (会長：平戸市長)	平戸市、松浦市、鹿町町、 伊万里市、佐世保市、江迎町、 佐々町の首長及び議会議長	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H15.12.2 半島振興対策促進大会
長崎県西九州自動車道 建設促進期成会 (会長：長崎県知事)	長崎県知事及び議会議長 関係市長及び議会議長 行政機関役職員 商工会議所 農業・漁業組合 中小企業団体首長 町村会及び議長会等会長	西九州自動車道の早期実現について、 総会の開催及び国土交通省へ要望 参考 H15.8.19 地整要望
平戸市議会西九州自動車道 整備促進特別委員会 (会長：平戸市議会議長)	平戸市議会特別委員会	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.29 地整要望 H16.7.30 本省要望 H18.1.26 本省要望

## 協力体制

組織名	業務内容
唐津市建設部国道対策室 (平成元年4月)	西九州自動車道・唐津道路・唐津伊万里道路 (地元対応、地域情報窓口)
伊万里市建設部国道港湾対策課 (平成3年4月)	西九州自動車道・唐津伊万里道路・伊万里道路・ 伊万里松浦道路 (地元対応、地域情報窓口)

## 要望等

H16.7.29	地整要望(平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会)
H16.7.30	本省要望(平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会)
H16.8.18	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設推進協議会)
H16.8.19	西九州自動車道事業促進要望(伊万里市議会自民党議員団)
H16.8.24	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H16.9.29	西九州自動車道建設促進要望(西九州北部地域開発促進協議会)
H16.9.29	西九州自動車道伊万里道路の脇田区内における法線変更要望(伊万里市脇田区)
H16.10.13	西九州自動車道事業促進要望(伊万里市南波多町まちづくり推進協議会、 伊万里市南波多町区長会)
H16.10.18	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H16.10.18	西九州自動車道建設促進要望(伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道 建設促進協議会)
H16.10.20	西九州自動車道建設促進要望(伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道 建設促進協議会)
H16.11.2	西九州自動車道早期整備要望(伊万里市西九州自動車道建設促進期成会)
H16.11.11	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H16.11.19	西九州自動車道早期整備要望(伊万里市西九州自動車道建設促進期成会)
H16.11.21	平成16年度西九州自動車道建設促進総決起大会(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.2.14	西九州自動車道建設促進要望(伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道 建設促進協議会)
H17.6.9	西九州自動車道唐津道路整備要望(唐津市)
H17.8.23	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.7	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.27	西九州自動車道建設促進に関する意見交換会(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.27	西九州自動車道建設促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.28	西九州自動車道建設促進要望(西九州北部地域開発促進協議会)
H17.11.15	西九州自動車道早期整備要望(伊万里市西九州自動車道建設促進期成会)
H18.1.26	本省要望(平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会)

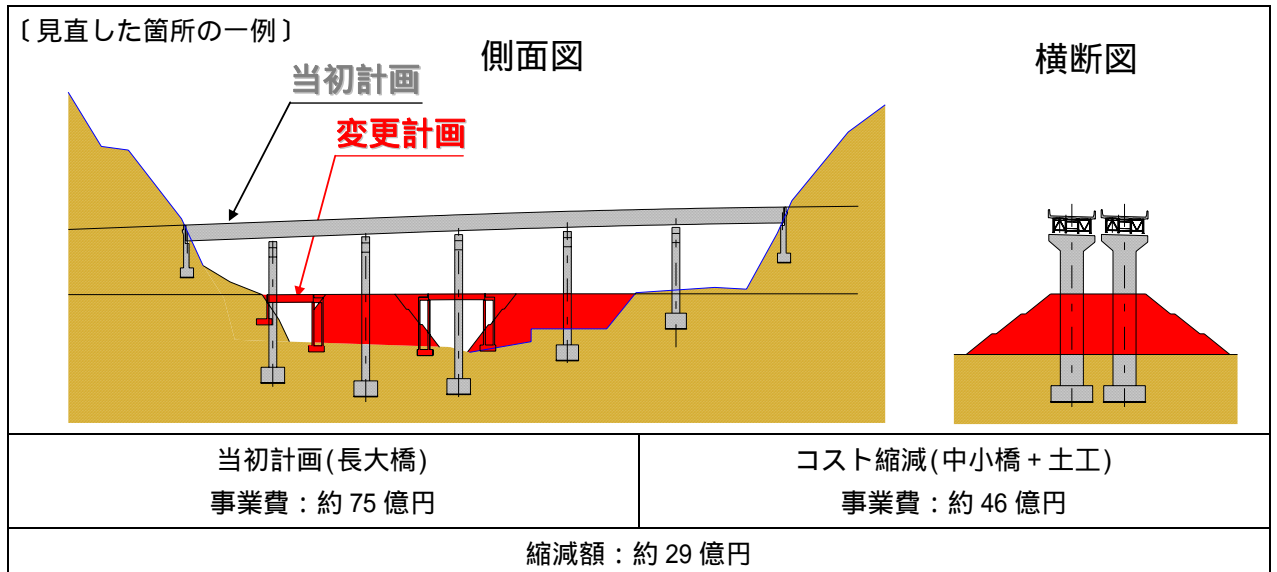
## 5 . コスト縮減や代替え案立案等

### (1) コスト縮減

事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。

#### 【具体的な取組状況】

平面及び縦断線形の見直し [ 千々賀山田地区 ]



平面及び縦断線形の見直し [ 伊万里東(府招下)地区 ]

当初計画(橋梁形式) 事業費：約 51 億円	コスト縮減(盛土形式) 事業費：約 32 億円
縮減額：約 19 億円	

インターチェンジ形式の見直し [ 伊万里東(府招上)地区 ]

当初計画(トランペット型)	コスト縮減(IC型式平面Y型)
<p>・トランペット型</p>	<p>・平面Y型に変更</p>
事業費：約 20 億円	事業費：約 14 億円
縮減額：約 6 億円	



## (2) 代替案の立案

唐津伊万里道路は、地形条件、周辺地域からの利便性、唐津港・伊万里港からのアクセス性、「自然公園法」、「文化財保護法」等の重要な自然環境の保全地区、「文化財保護法」に基づき指定された史跡・名勝・天然記念物、河川、JR等のコントロールポイントなどを総合的に勘案して計画したものである。

現在、用地取得率が事業費ベースで65%を超えており、今後も現計画で早期供用に向けて事業を促進することが最適である。

## 6. 対応方針(案)

### 〔事業継続〕

一般国道497号西九州自動車道の唐津伊万里道路については、事業を継続する。

唐津伊万里道路は、西九州自動車道の一区間を形成し、広域的な地域間の連携・交流を促進する道路であり、唐津・伊万里地域間の交流連携の強化、地域の産業、経済発展に寄与する事業である。

また、物流の効率化支援、交通混雑の緩和、地域の防災機能・安全性の向上、活力ある地域づくりの支援などの効果が期待されているところであり、周辺の自治体などから積極的な整備促進要望がなされている。また、沿線の地域住民も西九州自動車道整備に対する期待は大きい。

このため、引き続き唐津伊万里道路の早期供用に向けて、事業を推進する。

なお、本道路を含む西九州自動車道については、その整備効果の早期発現等の観点から、事業の効率的促進を図るため、関係自治体と連携して必要な調査・事業を推進する。

## 7. 関連新聞記事

佐賀新聞 平成 18 年 7 月 5 日

### 養母田トンネル着工へ

#### 西九州道期成会が総会



西九州道の全線供用へ要望活動を行うことを決めた建設促進期成会の総会＝唐津市の唐津ロイヤルホテル

西九州自動車道建設促進期成会（会長・坂井俊之唐津市長）の総会が四日、唐津市の唐津ロイヤルホテルであった。計画

決めた。総会には佐賀、福岡、長崎県の沿線十六市町の首長や議長らが出席。各県の国道工事事務所が進捗よく状況を説明した。県関係では本年度、唐津道路（十・四キロ）のうち鹿家―浜玉間（三・八キロ）が、二〇〇九年度の供用開始に向けた用地買収や高架橋など工事を引き続き促進。唐津伊万里道路（一八・一キロ）は、養母田トンネルの工事着手を予定していることが報告された。また、役員改選では、会長に坂井俊之唐津市長を再選した。（古賀真）

西日本新聞 平成 18 年 7 月 5 日

#### 西九州道建設へ全力

#### 期成会が唐津で総会

西九州自動車道建設促進期成会（会長＝坂井俊之唐津市長）と筑肥線複線化電化促進期成会（同）は四日、二〇〇六年度の総会を唐津市のホテルで開き、本年度の事業計画などを決めた。

西九州自動車道建設促進期成会は県内と福岡、長崎三県にまたがる十六市町で組織。坂井市長ら三役の統投（任期二年）のほか、建設促進のため予算確保に全力で取り組むことを決めた。また、県内と福岡県の六市町で組織する筑肥線複線化電化促

進期成会は緊急の要望として駐輪・駐車場の整備、駅施設のバリアフリー化を求めた。さらに短期要望として唐津―鬼塚駅間の新駅設置などを求めていくことも決めた。

西九州自動車道建設促進協

### 松浦で定期総会

#### 事業推進へ3市協力

【松浦】西九州自動車道などを決議した。道の早期完成を目指す伊万里・平戸・松浦市議会。毎年開催。福村邦廣松浦西九州自動車道建設促進市議会議長は「長期間の協議会の定期総会が十八日活動がようやく実を結ぶ日、松浦市であり、三市協力を進めようとしている。一日も早く協議会が協力して事業推進の建設着手、完成につながるよう今後も協力して

活動を続けよう」とあいさつした。

新会長には、伊万里市議会の前田教一交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員長を選出。長崎、佐賀両県や地元選出国會議員への陳情活動などの本年度事業計画案と予算案について協議。国への要望として「社会資本整備重点計画に即した



西九州自動車道の建設促進に向けた活動を決めた総会  
—松浦市志佐町、松浦シティホテル

道路整備を推進するため、所要の道路予算を確保する」「道路特定財源を確保し、その全額を道路整備に充当する」などを盛り込んだ決議文を採択した。

### 西九州道整備 国交省に要望

#### 3県推進協

西九州自動車道沿線の福岡、佐賀、長崎の三県と福岡市でつくる西九州自動車道建設推進協議会は十八日、「西九州道は九州北西部の観光・リゾートなどとして、九州地域の一体的発展に不可欠」として、整備促進を求める要望書を国土交通省に提出した。

#### 【一面参照】

また、三県選出の国會議員でつくる西九州自動車道建設促進三県議員懇話会も同日、国交省に早期整備を要請した。

西九州道は、福岡都市高速道路の月隈ジャンクションから分岐し、同県前原市、佐賀県唐津市、長崎県松浦市、佐世保市などを經由して、九州横断道の武雄ジャンクションにつながる総延長約百五十キロの自動車専用道路。約三分の一の四十九キロが供用されている。

## 早期建設の決議採択

### 西九州道建設促進決起大会

福岡、佐賀、長崎3県を結ぶ西九州自動車道の建設促進総決起大会が21日、伊万里市民センターであり、「北部九州の地域経済発展や生活圏の拡大に欠くことができない広域幹線道路で、一日も早

い建設を促進する必要がある」との決議を採択した。道路沿線の3県自治体でつくる建設促進期成会（会長、坂井俊之・唐津市長）の主催。

西九州自動車道は高規格幹線道路網として計画

され、福岡市―福岡県前原市―唐津市―北波多村―伊万里市―長崎県松浦市―佐々町―佐世保市―波佐見町―武雄市の全長約150キロ。現在、全体の約3割の約55キロが部分開通している。

大会には古川康知事、金子原二郎・長崎県知事、武田文男・福岡県副知事や3県選出の国会議員、沿線自治体関係者、住民ら約1000人が参加。来賓として国土交通省の谷口博昭・道路局長や岡山和生・九州整備局長らも出席した。3県の知事や副知事らが「一日も早い完成」を訴え、住民代表も「地域の活性化のためには、西九州自動車道は必要不可欠」と要望した。

【米田和俊】

# 卷 末 資 料

(客觀的評價指標)

## 客観的評価指標

政策目標		指標
大項目	中項目	
1.活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 並行区間の渋滞損失時間(現況):21.6万人時間/年 並行区間の渋滞損失削減率:9割削減
		並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる
		新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる
	物流効率化の支援	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
		特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
	都市の再生	農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
		都市再生プロジェクトを支援する事業である
		三大都市圏の環状道路を形成する
	国土・地域ネットワークの構築	市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
個性ある地域の形成	日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
	IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
2.暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
3.安全	安全な生活環境の確保	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する
		並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する
4.環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO <sub>2</sub> 排出量 CO <sub>2</sub> 排出削減量:5,127t-CO <sub>2</sub> /年
	生活環境の改善・保全	並行区間等における自動車からのNO <sub>2</sub> 排出削減率 NO <sub>2</sub> 排出削減率:0.1%
		並行区間等における自動車からのSPM排出削減率 SPM排出削減率:0.6%
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		その他、環境や景観上の効果が期待される
5.その他	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される

### 再評価時点における評価指標該当項目

#### 1.について

- ・「伊万里港」から福岡県方面、「唐津港」から長崎県方面へのアクセス向上が見込まれる
- ・「伊万里梨」の産地である伊万里市から大都市圏への流通の利便性向上が見込まれる
- ・唐津地方生活圏の中心都市「唐津市」と伊万里二次生活圏の中心都市「伊万里市」を最短で連絡するルートを構成する
- ・唐津市北波多地区(旧北波多村)から唐津市中心市街地へのアクセス向上が見込まれる
- ・年間観光客数が100万人を超える唐津市、伊万里市内の観光施設へのアクセス向上が見込まれる

#### 2.について

- ・三次救急医療施設である福岡大学病院救命救急センターへのアクセス向上が見込まれる

#### 3.について

- ・並行する国道202号において、唐津市瀬田原交差点、伊万里市南波多町小麦野交差点における死傷事故率が500件/億台キロを超えている
- ・国道202号は緊急輸送ネットワークに指定されており、これらの路線が通行止めになった場合の迂回路となる

## 費用及び便益額算定

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
国道497号	唐津伊万里道路	L = 18.1 km	高規格 B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
29,700	4	九州地方整備局

## .費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	841 億円	178 億円	1,019 億円
うち残事業分	643 億円	178 億円	821 億円
基準年における 現在価値 (C)	685 億円	70 億円	755 億円
うち残事業分	471 億円	70 億円	541 億円

## .便益額

	走行時間短縮便益	走行費用短縮便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成18年度			
供用年	平成24年度			
初年便益	45 億円	8 億円	4 億円	57 億円
基準年における 現在価値 (B)	1,191 億円	187 億円	107 億円	1,485 億円
うち残事業分	1,191 億円	187 億円	107 億円	1,485 億円

## .費用便益比

費用便益費(事業全体)	2.0
費用便益費(残事業)	2.8

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある。

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	事業主体
国道497号	唐津伊万里道路(全事業)	L = 18.1 Km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ°	1,923,440	1,923,440	0
平均トリップ長 (総走行台数÷総トリップ数)	km	9.7	9.7	0.0
平均速度 (総走行台数÷総走行時間)	km/h	43.7	44.3	-0.6
平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	13.4	13.2	0.2
平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ°	164.8	163.0	1.8

(注) 総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	事業主体
国道497号	唐津伊万里道路(残事業)	L = 18.1 Km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ°	1,923,440	1,923,440	0
平均トリップ長 (総走行台数÷総トリップ数)	km	9.7	9.7	0.0
平均速度 (総走行台数÷総走行時間)	km/h	43.7	44.3	-0.6
平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	13.4	13.2	0.2
平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ°	164.8	163.0	1.8

(注) 総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。



## 費用便益分析の条件

事業名: 一般国道497号 唐津伊万里道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成18年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	(H42)
		複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他( )	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		
	転換率式を用いた配分		
	Q-V式と転換率式の併用による配分		
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		
	簡易手法		
	簡易手法の場合	小規模事業である 山間部海岸部で並行道路が少ない その他( )	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		
	採用理由を記載	各道路区間(リンク)毎の混雑の度合いに応じた速度差を考慮するとともに、1日の平均的な走行状態を表現するため「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度		
	採用理由を記載		
	その他( )		

### 費用便益分析の条件

事業名：一般国道497号 唐津伊万里道路

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	
			対象路線のみ考慮	
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	平成15年8月12日付け事務連絡に基づく設定		
		その他 ( )		
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		
		独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること		
	車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		
独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること				
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮			
	中央分離帯の有無を考慮しない			
時間短縮・費用減 少・事故減少以外の 便益	考慮しない			
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				
費 用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用		
		標準投資パターンを採用		
		その他 (H18まで実績及び事業計画、H19以降は事業年数で均等割り)		
	維持管理費	費用便益分析マニュアルの値を使用		
事務所等の実績値より設定 その他 ( )				
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である			
その他				
4 . その他 上記のほか、B / Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				

維持修繕費の単価単価の算出（消費税相当額含）

採用単価の根拠：

単価（億円）	延長（km）	単価単価（億円）
0.27	18.1	4.89

費用の現在価値算定表 【全事業】

年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-24年目	H	2.0258				
-23年目	H	1	1.9479			
-22年目	H	2	1.8730			
-21年目	H	3	1.8009			
-20年目	H	4	1.7317	0.97	1.68	
-19年目	H	5	1.6651	1.05	1.75	
-18年目	H	6	1.6010	3.54	5.67	
-17年目	H	7	1.5395	1.59	2.45	
-16年目	H	8	1.4802	1.34	1.98	
-15年目	H	9	1.4233	2.22	3.16	
-14年目	H	10	1.3686	3.45	4.72	
-13年目	H	11	1.3159	12.14	15.97	
-12年目	H	12	1.2653	15.13	19.14	
-11年目	H	13	1.2167	12.63	15.37	
-10年目	H	14	1.1699	12.97	15.18	
-9年目	H	15	1.1249	17.25	19.40	
-8年目	H	16	1.0816	28.39	30.71	
-7年目	H	17	1.0400	36.46	37.92	
-6年目	H	18	1.0000	49.02	49.02	
-5年目	H	19	0.9615	66.17	63.62	
-4年目	H	20	0.9246	66.17	61.18	
-3年目	H	21	0.8890	66.17	58.82	
-2年目	H	22	0.8548	66.17	56.56	
-1年目	H	23	0.8219	66.18	54.39	
供用開始年次	H	24	0.7903	33.94	26.82	2.06
1年目	H	25	0.7599	33.95	25.80	2.06
2年目	H	26	0.7307	15.87	11.59	3.29
3年目	H	27	0.7026	15.87	11.15	3.29
4年目	H	28	0.6756			4.65
5年目	H	29	0.6496			4.65
6年目	H	30	0.6246			4.65
7年目	H	31	0.6006			4.65
8年目	H	32	0.5775			4.65
9年目	H	33	0.5553			4.65
10年目	H	34	0.5339	53.08	28.34	4.65
11年目	H	35	0.5134	53.08	27.25	4.65
12年目	H	36	0.4936	53.08	26.20	4.65
13年目	H	37	0.4746	53.08	25.19	4.65
14年目	H	38	0.4564			4.65
15年目	H	39	0.4388			4.65
16年目	H	40	0.4220			4.65
17年目	H	41	0.4057			4.65
18年目	H	42	0.3901			4.65
19年目	H	43	0.3751			4.65
20年目	H	44	0.3607			4.65
21年目	H	45	0.3468			4.65
22年目	H	46	0.3335			4.65
23年目	H	47	0.3207			4.65
24年目	H	48	0.3083			4.65
25年目	H	49	0.2965			4.65
26年目	H	50	0.2851			4.65
27年目	H	51	0.2741			4.65
28年目	H	52	0.2636			4.65
29年目	H	53	0.2534			4.65
30年目	H	54	0.2437			4.65
31年目	H	55	0.2343			4.65
32年目	H	56	0.2253			4.65
33年目	H	57	0.2166			4.65
34年目	H	58	0.2083			4.65
35年目	H	59	0.2003			4.65
36年目	H	60	0.1926			4.65
37年目	H	61	0.1852			4.65
38年目	H	62	0.1780			4.65
39年目	H	63	0.1712	-94.14	-16.12	4.65
合計			746.79	684.92	178.10	69.69

単純事業費計	840.93	178.10
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持管理費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表【全事業】

箇所名:唐津伊万里道路

年次	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州プロット)		割引率 (A)	走行時間便益(億円)				走行経費便益(億円)				事故補償費用(億円)				合計 (億円)			
	乗用車	貨物車		全車	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	10.36	7.63	44.92	35.50	3.03	0.23	3.04	2.04	8.34	6.59	3.90	3.08	57.16	45.17
1年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	23.82	3.31	44.92	35.50	3.03	0.23	3.04	2.04	8.34	6.59	3.90	3.08	57.16	45.17
2年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	28.90	3.34	45.11	34.28	3.05	0.23	3.04	2.04	8.36	6.35	3.92	2.98	57.39	43.61
3年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	29.16	4.00	54.70	39.97	3.59	0.27	3.56	2.39	9.81	7.17	5.06	3.70	69.57	50.84
4年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	34.37	4.69	64.37	43.49	4.25	0.30	4.22	2.73	11.50	7.77	6.29	4.25	82.16	55.51
5年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	34.63	4.72	64.63	41.98	4.28	0.30	4.21	2.73	11.52	7.48	6.32	4.11	82.47	53.57
6年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	34.89	4.75	64.89	40.53	4.31	0.30	4.20	2.73	11.54	7.21	6.35	3.97	82.78	51.71
7年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	35.15	4.78	65.15	39.13	4.34	0.30	4.19	2.73	11.56	6.94	6.38	3.83	83.09	49.90
8年目	H 32	1.00157	0.99594	1.00004	0.5775	35.41	4.81	65.41	37.77	4.37	0.30	4.18	2.73	11.58	6.69	6.41	3.70	83.40	48.16
9年目	H 33	1.00156	0.99592	1.00004	0.5553	35.47	4.82	65.38	36.31	4.38	0.30	4.16	2.72	11.56	6.42	6.41	3.56	83.35	46.29
10年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	35.53	4.83	65.35	34.89	4.39	0.30	4.14	2.71	11.54	6.16	6.41	3.42	83.30	44.47
11年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	35.59	4.84	65.32	33.54	4.40	0.30	4.12	2.70	11.52	5.91	6.41	3.29	83.25	42.74
12年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	35.65	4.85	65.29	32.23	4.41	0.30	4.10	2.69	11.50	5.68	6.41	3.16	83.20	41.07
13年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	35.71	4.86	65.26	30.97	4.42	0.30	4.08	2.68	11.48	5.45	6.41	3.04	83.15	39.46
14年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	49.84	6.82	91.11	41.58	5.01	0.37	4.64	2.85	12.87	5.87	7.76	3.54	111.74	50.99
15年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	49.92	6.83	91.06	39.96	5.02	0.37	4.62	2.84	12.85	5.64	7.76	3.41	111.67	49.01
16年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	50.00	6.84	91.01	38.41	5.03	0.37	4.60	2.83	12.83	5.41	7.76	3.27	111.60	47.09
17年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	50.08	6.85	90.96	36.90	5.04	0.37	4.58	2.82	12.81	5.20	7.76	3.15	111.53	45.25
18年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	50.16	6.86	90.91	35.46	5.05	0.37	4.56	2.81	12.79	4.99	7.76	3.03	111.46	43.48
19年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	50.00	6.84	90.55	33.97	5.03	0.37	4.54	2.80	12.74	4.78	7.73	2.90	111.02	41.65
20年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	49.84	6.82	90.19	32.53	5.01	0.37	4.52	2.79	12.69	4.58	7.70	2.78	110.58	39.89
21年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	49.68	6.80	89.83	31.15	4.99	0.37	4.50	2.78	12.64	4.38	7.67	2.66	110.14	38.19
22年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	49.52	6.78	89.47	29.84	4.97	0.37	4.48	2.77	12.59	4.20	7.64	2.55	109.70	36.59
23年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	49.36	6.76	89.11	28.58	4.95	0.37	4.46	2.76	12.54	4.02	7.61	2.44	109.26	35.04
24年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	49.20	6.74	88.75	27.36	4.93	0.37	4.44	2.75	12.49	3.85	7.58	2.34	108.82	33.55
25年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	49.04	6.72	88.39	26.21	4.91	0.37	4.42	2.74	12.44	3.69	7.55	2.24	108.38	32.14
26年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	48.88	6.70	88.03	25.10	4.89	0.37	4.40	2.72	12.38	3.53	7.52	2.14	107.93	30.77
27年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	48.72	6.68	87.67	24.03	4.87	0.37	4.38	2.71	12.33	3.38	7.49	2.05	107.49	29.46
28年目	H 52	0.99684	0.99695	0.99650	0.2636	48.56	6.66	87.31	23.01	4.85	0.37	4.36	2.69	12.27	3.23	7.46	1.97	107.04	28.21
29年目	H 53	0.99682	0.99695	0.99648	0.2534	48.38	6.64	87.01	22.05	4.83	0.37	4.35	2.68	12.23	3.10	7.43	1.88	106.67	27.03
30年目	H 54	0.99681	0.99694	0.99647	0.2437	48.20	6.62	86.71	21.13	4.81	0.37	4.34	2.67	12.19	2.97	7.40	1.80	106.30	25.90
31年目	H 55	0.99680	0.99693	0.99646	0.2343	48.02	6.60	86.41	20.25	4.79	0.37	4.33	2.66	12.15	2.85	7.37	1.73	105.93	24.83
32年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	47.84	6.58	86.11	19.40	4.77	0.37	4.32	2.65	12.11	2.73	7.34	1.65	105.56	23.78
33年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	47.66	6.56	85.81	18.59	4.75	0.37	4.31	2.64	12.07	2.61	7.31	1.58	105.19	22.78
34年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	47.48	6.54	85.51	17.81	4.73	0.37	4.30	2.63	12.03	2.51	7.28	1.52	104.82	21.84
35年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	47.30	6.52	85.21	17.07	4.71	0.37	4.29	2.62	11.99	2.40	7.25	1.45	104.45	20.92
36年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	47.12	6.50	84.91	16.35	4.69	0.37	4.28	2.61	11.95	2.30	7.22	1.39	104.08	20.04
37年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	46.94	6.48	84.61	15.67	4.67	0.37	4.27	2.60	11.91	2.21	7.19	1.33	103.71	19.21
38年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1780	46.76	6.46	84.31	15.01	4.65	0.37	4.26	2.59	11.87	2.11	7.16	1.27	103.34	18.39
39年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1712	46.58	6.44	84.01	14.38	4.63	0.37	4.25	2.58	11.83	2.03	7.13	1.22	102.97	17.63
合計(H24~H63)						1,723.00	236.27	678.07	498.32	3,355.66	1,190.98	169.60	106.60	473.24	187.30	276.60	106.96	3,885.50	1,485.24

維持修繕費の単純単価の算出（消費税相当額含）

採用単価の根拠：		
単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.27	18.1	4.89

費用の現在価値算定表 【残事業】

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-24年目	H	2.0258				
-23年目	H 1	1.9479				
-22年目	H 2	1.8730				
-21年目	H 3	1.8009				
-20年目	H 4	1.7317				
-19年目	H 5	1.6651				
-18年目	H 6	1.6010				
-17年目	H 7	1.5395				
-16年目	H 8	1.4802				
-15年目	H 9	1.4233				
-14年目	H 10	1.3686				
-13年目	H 11	1.3159				
-12年目	H 12	1.2653				
-11年目	H 13	1.2167				
-10年目	H 14	1.1699				
-9年目	H 15	1.1249				
-8年目	H 16	1.0816				
-7年目	H 17	1.0400				
-6年目	H 18	1.0000				
-5年目	H 19	0.9615	66.17	63.62		
-4年目	H 20	0.9246	66.17	61.18		
-3年目	H 21	0.8890	66.17	58.82		
-2年目	H 22	0.8548	66.17	56.56		
-1年目	H 23	0.8219	66.18	54.39		
供用開始年次	H 24	0.7903	33.94	26.82	2.06	1.63
1年目	H 25	0.7599	33.95	25.80	2.06	1.57
2年目	H 26	0.7307	15.87	11.59	3.29	2.40
3年目	H 27	0.7026	15.87	11.15	3.29	2.31
4年目	H 28	0.6756			4.65	3.14
5年目	H 29	0.6496			4.65	3.02
6年目	H 30	0.6246			4.65	2.90
7年目	H 31	0.6006			4.65	2.79
8年目	H 32	0.5775			4.65	2.69
9年目	H 33	0.5553			4.65	2.58
10年目	H 34	0.5339	53.08	28.34	4.65	2.48
11年目	H 35	0.5134	53.08	27.25	4.65	2.39
12年目	H 36	0.4936	53.08	26.20	4.65	2.30
13年目	H 37	0.4746	53.08	25.19	4.65	2.21
14年目	H 38	0.4564			4.65	2.12
15年目	H 39	0.4388			4.65	2.04
16年目	H 40	0.4220			4.65	1.96
17年目	H 41	0.4057			4.65	1.89
18年目	H 42	0.3901			4.65	1.81
19年目	H 43	0.3751			4.65	1.74
20年目	H 44	0.3607			4.65	1.68
21年目	H 45	0.3468			4.65	1.61
22年目	H 46	0.3335			4.65	1.55
23年目	H 47	0.3207			4.65	1.49
24年目	H 48	0.3083			4.65	1.43
25年目	H 49	0.2965			4.65	1.38
26年目	H 50	0.2851			4.65	1.33
27年目	H 51	0.2741			4.65	1.27
28年目	H 52	0.2636			4.65	1.23
29年目	H 53	0.2534			4.65	1.18
30年目	H 54	0.2437			4.65	1.13
31年目	H 55	0.2343			4.65	1.09
32年目	H 56	0.2253			4.65	1.05
33年目	H 57	0.2166			4.65	1.01
34年目	H 58	0.2083			4.65	0.97
35年目	H 59	0.2003			4.65	0.93
36年目	H 60	0.1926			4.65	0.90
37年目	H 61	0.1852			4.65	0.86
38年目	H 62	0.1780			4.65	0.83
39年目	H 63	0.1712	-34.38	-5.89	4.65	0.80
合計			608.40	471.02	178.10	69.69
単純事業費計			642.78		178.10	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持管理費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表【残事業】

箇所名：唐津伊万里道路

年次 供用開始年次	総走行台車の年次別伸び率		割引率	走行時間便益(億円)				走行経費便益(億円)				事故提出費用(億円)				合計				
	乗用車	貨物車		バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 ①+②+③	現在価値 割引率4%		
H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	23.62	3.31	10.36	7.63	44.92	35.50	3.03	0.23	3.04	2.04	8.34	6.99	3.90	3.08	57.16	45.17
H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	23.80	3.34	10.35	7.62	45.11	34.28	3.05	0.23	3.04	2.04	8.36	6.35	3.92	2.98	57.39	43.61
H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	23.94	4.00	12.54	9.22	54.70	39.97	3.59	0.27	3.56	2.39	9.81	7.17	5.06	3.70	69.57	50.84
H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	25.16	4.03	12.52	9.21	54.92	38.59	3.62	0.27	3.56	2.39	9.84	6.91	5.09	3.58	69.85	49.08
H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	34.37	4.69	14.62	10.69	64.37	43.49	4.25	0.30	4.22	2.73	11.50	7.77	6.29	4.25	82.16	55.51
H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	34.63	4.72	14.60	10.68	64.63	41.98	4.28	0.30	4.21	2.73	11.52	7.48	6.32	4.11	82.47	53.57
H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	34.89	4.75	14.58	10.67	64.89	40.53	4.31	0.30	4.20	2.73	11.54	7.21	6.35	3.97	82.78	51.71
H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	35.15	4.78	14.56	10.66	65.15	39.13	4.34	0.30	4.19	2.73	11.56	6.94	6.38	3.83	83.09	49.90
H 32	1.00723	0.99864	1.00490	0.5775	35.41	4.81	14.54	10.65	65.41	37.77	4.37	0.30	4.18	2.73	11.56	6.69	6.41	3.70	83.40	48.16
H 33	1.00717	0.99864	1.00488	0.5553	35.47	4.82	14.48	10.61	65.38	36.31	4.38	0.30	4.16	2.72	11.56	6.42	6.41	3.56	83.35	46.29
H 34	1.00711	0.99864	1.00486	0.5339	35.53	4.83	14.42	10.57	65.35	34.89	4.39	0.30	4.14	2.71	11.54	6.16	6.41	3.42	83.30	44.47
H 35	1.00705	0.99864	1.00484	0.5134	35.59	4.84	14.36	10.53	65.32	33.54	4.40	0.30	4.12	2.70	11.52	5.91	6.41	3.29	83.25	42.74
H 36	1.00700	0.99864	1.00482	0.4936	35.65	4.85	14.30	10.49	65.29	32.23	4.41	0.30	4.10	2.69	11.50	5.68	6.41	3.16	83.20	41.07
H 37	1.00694	0.99864	1.00480	0.4746	35.71	4.86	14.24	10.45	65.26	30.97	4.42	0.30	4.08	2.68	11.48	5.45	6.41	3.04	83.15	39.46
H 38	1.00688	0.99864	1.00478	0.4564	49.84	6.82	19.83	14.62	91.11	41.58	5.01	0.37	4.64	2.85	12.87	5.87	7.76	3.54	111.74	50.99
H 39	1.00682	0.99864	1.00476	0.4388	49.92	6.83	19.75	14.56	91.06	39.96	5.02	0.37	4.62	2.84	12.85	5.64	7.76	3.41	111.67	49.01
H 40	1.00676	0.99864	1.00474	0.4220	50.00	6.84	19.67	14.50	91.01	38.41	5.03	0.37	4.60	2.83	12.83	5.41	7.76	3.27	111.60	47.09
H 41	1.00670	0.99864	1.00472	0.4057	50.08	6.85	19.59	14.44	90.96	36.90	5.04	0.37	4.58	2.82	12.81	5.20	7.76	3.15	111.53	45.25
H 42	0.99669	0.99864	0.99863	0.3901	50.16	6.86	19.51	14.38	90.91	35.46	5.05	0.37	4.56	2.81	12.79	4.99	7.76	3.03	111.46	43.48
H 43	0.99668	0.99469	0.99632	0.3751	50.00	6.84	19.41	14.30	90.55	33.97	5.03	0.37	4.52	2.80	12.74	4.78	7.73	2.90	111.02	41.65
H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	49.84	6.82	19.31	14.22	90.19	32.53	5.01	0.37	4.52	2.79	12.69	4.58	7.70	2.78	110.58	39.89
H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	49.68	6.80	19.21	14.14	89.83	31.15	4.99	0.37	4.50	2.78	12.64	4.38	7.67	2.66	110.14	38.19
H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	49.52	6.78	19.11	14.06	89.47	29.84	4.97	0.37	4.48	2.77	12.59	4.20	7.64	2.55	109.70	36.59
H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	49.36	6.76	19.01	13.98	89.11	28.58	4.95	0.37	4.46	2.76	12.54	4.02	7.61	2.44	109.26	35.04
H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	49.20	6.74	18.91	13.90	88.75	27.36	4.93	0.37	4.44	2.75	12.49	3.85	7.58	2.34	108.82	33.55
H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	49.04	6.72	18.81	13.82	88.39	26.21	4.91	0.37	4.42	2.74	12.44	3.69	7.55	2.24	108.38	32.14
H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	48.88	6.70	18.71	13.74	88.03	25.10	4.89	0.37	4.40	2.72	12.38	3.53	7.52	2.14	107.93	30.77
H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	48.72	6.68	18.61	13.66	87.67	24.03	4.87	0.37	4.38	2.71	12.33	3.38	7.49	2.05	107.49	29.46
H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	48.56	6.66	18.51	13.58	87.31	23.01	4.85	0.37	4.36	2.69	12.27	3.23	7.46	1.97	107.04	28.21
H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	48.38	6.64	18.45	13.54	87.01	22.05	4.83	0.37	4.35	2.68	12.23	3.10	7.43	1.88	106.67	27.03
H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	48.20	6.62	18.39	13.50	86.71	21.13	4.81	0.37	4.34	2.67	12.19	2.97	7.40	1.80	106.30	25.90
H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	48.02	6.60	18.33	13.46	86.41	20.25	4.79	0.37	4.32	2.66	12.15	2.85	7.37	1.73	105.93	24.83
H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	47.84	6.58	18.27	13.42	86.11	19.40	4.77	0.37	4.32	2.65	12.11	2.73	7.34	1.65	105.56	23.78
H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	47.66	6.56	18.21	13.38	85.81	18.59	4.75	0.37	4.31	2.64	12.07	2.61	7.31	1.58	105.19	22.78
H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	47.48	6.54	18.15	13.34	85.51	17.81	4.73	0.37	4.30	2.63	12.03	2.51	7.28	1.52	104.82	21.84
H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	47.30	6.52	18.09	13.30	85.21	17.07	4.71	0.37	4.29	2.62	11.99	2.40	7.25	1.45	104.45	20.92
H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	47.12	6.50	18.03	13.26	84.91	16.35	4.69	0.37	4.28	2.61	11.95	2.30	7.22	1.39	104.08	20.04
H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	46.94	6.48	17.97	13.22	84.61	15.67	4.67	0.37	4.27	2.60	11.91	2.21	7.19	1.33	103.71	19.21
H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1780	46.76	6.46	17.91	13.18	84.31	15.01	4.65	0.37	4.26	2.59	11.87	2.11	7.16	1.27	103.34	18.39
H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1712	46.58	6.44	17.85	13.14	84.01	14.38	4.63	0.37	4.25	2.58	11.83	2.03	7.13	1.22	102.97	17.63
合計(H24~H63)					1,723.00	236.27	678.07	498.32	3,135.66	1,190.98	183.42	13.82	169.60	106.60	473.24	187.30	276.60	106.96	3,885.50	1,485.24